關大
発行所 関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集兼発行人 長柄金吾
電話堀川（35）代表2072番
振替口座大阪55594番

関西大学運営の陣容決る

理事會は8名で構成

理事長白川、専務久井氏に

評議員會議長は阿部甚吉氏

学校法人関西大学の新評議員八十四名が決定し、今後四ケ年にわたり大学の運営に当ることになった。その第一回評議員会を十月十日、新築完成の天六体育館で開催し、大学経営の衝に当る理事、監事を選出した。

十月十日午後三時から開かれた第一回評議員会は、今後四ケ年にわたる大学の運営を司る理事、監事を選出する重要な会議であるだけに出席率よく、東京、山口、熊本などからも参集して七十七名、今日の日はじめて使用する体育館の会場は開会前から異状な活気と雰囲気が感じられた。

午後三時半、定刻よりやゝ遅れて開会、前任白川理事長から本日の議案について慎重審議をお願いしたいとの挨拶あり、ついで理事長の指名で岩崎学長が仮議長席につく。

第一号議案議長、副議長の選任について提案、選任方法は詮衡委員九名を仮議長の指名により決定、仮議長を入れて十名の委員によって詮衡した結果、

議長　阿部　甚吉氏
副議長　大島　武夫氏

が決まり、これで今期評議員会の態勢は阿部議長の下にその巨歩を踏み出すことになった。

阿部甚吉氏議長席につき、大島武夫氏副議長席について就任の挨拶をのべて、いよいよ第二号議案理事並びに監事の選任の議案に移る。

本日選任される理事は六名、監事は三名であるが、その選出方法について投票によるか、詮衡委員制によるかの議論ふっとうして、えんえん五時間半、選出方法を詮衡委員制によるか投票によるかを投票によって決定することになり

投票を可とするもの　四三票
詮衡委員制による　三一票

右の結果、選出方法は投票によることになり、候補者の推薦があって、先ず六名連記によって理事の投票に移り、開票の結果

（投票七五票）
久井　忠雄氏　七一票
福島　四郎氏　六一票
矢口孝次郎氏　五九票
白川　朋吉氏　四五票
西村治三郎氏　三三票
神宅賀寿恵氏　三一票
次点榁本　信雄氏　二三票

ついで監事の投票に移り、開票の結果（投票七四票）

三好　万次氏　五三票
矢野　文雄氏　四四票
今井　康兼氏　三〇票
次点長柄　金吾氏　一五票

以上で理事、監事の選出は終ったのであるが、理事には学長が学長理事として入り、また理事会において推薦される二名を加えて九名を以って理事会を構成することになる。また理事長、専務理事、常務監事の役職については次期の理事会、監事会において互選により決定することになる。

この度構成した理事会において十月十三日の初会合において、互選の結果、理事長に白川朋吉氏、専務理事に久井忠雄氏、監事会では常務監事は輪番制として初期に矢野文雄氏が担当することになった。

また理事会推薦の理事二名の人選については、今後の四ケ年は専ら学内の内容充実に重点をおく関係上一名は学識者、一名は財界の重鎮をとの広い視野で人を求め、元講師で元京大教授法学部長であった宮本英雄氏を挙げて交渉の結果同氏の受諾を得たので決定したなお今一名の推薦については当分補充せず、八名の理事を以って理事会を構成することになったが、現岩崎学長は十一月十八日で学長の任期満了となるので、改選となるか再選されるか次期の学長選挙が重要関心事である。

白川理事長
久井専務理事
宮本理事
岩崎理事（学長）
矢口理事
神宅理事
矢野常務監事
西村理事
今井監事
福島理事
三好監事

理事・監事略歴

▽**白川朋吉氏**　明治六年香川県生、明治二十七八年関西法律学校在学、推薦校友、同三十年東京法学院卒、弁護士、大阪市議長を二期つとめ、大阪市教育会評議員会議長、琴平電鉄相談役他電鉄会社重役歴任、本学では昭和六年〜九年監事、十年〜十七年理事、二十七年理事長に就任、本年十月再任された。

▽**久井忠雄氏**　明治卅八年大阪府生、昭和六年関大法科卒、内務省に入り群馬県桐生署長、東京警視庁警衛課長、千葉県官房長、内閣情報局出版新聞課長を歴任して昭和二十年新潟県警察部長となり二十一年退官、弁護士、久大紡監査役、同二十七年関大評議員となり専務理事、本年十月専務理事再任。

▽**岩崎卯一氏**　明治廿四年佐賀県生、法博、大正四年関大専法卒、同十年コロンビヤ大学院卒同年本学教授に任じ、社会学、政治学を担当、九大、京大の講師、本学法文学部長、図書館長を歴任、昭和二十二年学長に、また昭和二十八年学長に再選された。

▽**神宅賀寿恵氏**　明治廿六年徳島県生、大正四年関大専法卒、同七年弁護士開業、大阪弁護士会副会長、日本弁護士連合会監事、理事を歴任、昭和二十三年〜三十年まで大阪市公安委員、現在大阪府公安委員。又大正十四年から関大講師、昭和十九年より協議員、二十七年評議員、本年評議員に再選され、十月理事に就任。

▽**西村治三郎氏**　明治三十七年兵庫県生、大正十四年関大専商卒 昭和十六年 尼崎 大同トラック、十九年尼崎自動車重役を経て、二十四年大同通運専務、同三十一年カネキ商店社長兼任。昭和二十七年関大評議員となり監事、本年十月理事に就任。

▽**福島四郎氏**　明治卅五年静岡県生、昭和四年京大法科卒、同十四年関大講師、十五年教授に任じ、二十四年度及び二十九年度の二期法学部長に、本年十年理事に就任された。なお全国大学教授連盟近畿支部評議員、日本私法学会理事、日本法律家近畿協会支部理事を兼任。

▽**宮本英雄氏**　明治廿一年静岡県生、法博、大正四年京大法科卒、同六年京大助教授となり、同七年〜十年欧米に留学、同十年京大教授となり昭和六年より同八年辞任まで法学部長。同八年以後弁護士、兵庫県地労委会長、京阪神急行専務等を歴任して、現在同社取締役、関西電力顧問、本年十月関大理事に就任

▽**矢口孝次郎氏**　明治卅六年長野県生、経博、昭和二年東京商大卒、同三年関大講師、四年助教授、九年教授となり、経済学部長、短大部長を歴任して現在大学院部長兼任。本年十月理事に就任。

▽**矢野文雄氏**　明治四十三年徳島県生、昭和九年関大法卒、拳法九段、日本拳法会会長、矢野茂次商店取締役副社長、昭和二十七年関大評議員となり常務監事、昭和三十一年十月監事に再選され、現在常務監事。

▽**今井康兼氏**　大正四年大阪府生昭和十四年関大経卒、同年日本電力会社入社、二十一年大阪電気鋳鋼常任監査役、二十五年大阪機械製作所取締役、二十九年常務（代表）取締役となり帝国精密工業取締役、財団法人第一病院理事兼任。なお昭和二十七年関大評議員、本年再選され十月監事に就任。

▽**三好万次氏**　明治二十六年大阪府生、大正四年関大専法卒、大正二年大阪電気軌道入社、昭和九年同社取締役、同十二年専務、同二十年近畿車輛、二十六年近鉄取締役たるほか会社重役を兼ね、二十九年近鉄取締役会長に就任現在に至る。なお昭和廿年から廿一年まで本学理事に本年十月監事に就任。

小型映画とカメラ
国際カメラ
大阪東区今橋二丁目三
電話㉓四八六七・九四八七

学内さらに充実へ

定例評議員會を開催

学校法人関西大学寄附行為の規定に基づく定例評議員会は十一月五日午後三時から天六学舎で開かれた。当日は白川理事長ほか五十名の評議員が出席した。

先ず事業報告として久井専務理事から本年四月から十月までに実施した天六学舎体育館、学生寮の第四期増築、第二運動場の新設工事や、目下工事進捗中の第三学舎の進捗状況、研究図書の購入状況教職員学生生徒の概況、国外研究員並に内地研究員の現況、大学出版図書等について詳細な報告があった。

ついで千里山第三学舎の新築に伴う体育館並に体育実技場移転用地の買収の承認、別項人事委員並に委員会設置についての運営委員等を委嘱選任するところがあった。

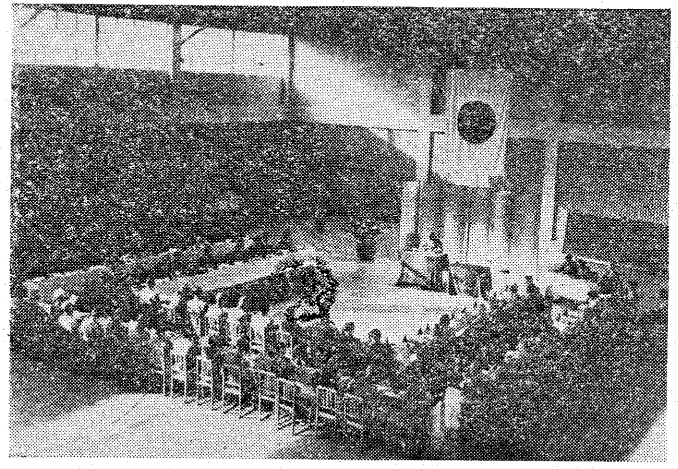
〈学生生徒数〉
大学院一五五、学部一四、一三九、短大三五一、高校一、〇四五、中学四八一、幼一三五、計一六、三〇七

〈職員数〉
教授七〇、助教授二一、専任講師二一、教諭三九、高中専任講師四、助手一八、員外教授九、講師二二七、事務職員二九二、七〇一名

〈購入図書　4月〜10月〉　単位千円
千里山本館八、一七二、天六分館一、〇三九、個人研究用三、五二七、高・中・幼六八九、計一三、四二七

〈在外研究員〉
▽商学部安田信一教授、三〇年三月〜三一年六月帰学
▽法学部桜田誉教授、三〇年四月〜三一年六月帰学
▽法学部川上敬逸教授、三一年三月〜同年十月帰学
▽文学部藤本是教授、三一年五月〜現在ドイツ留学中
▽経済学部松原藤由教授、三一年十月〜現在アメリカ留学中

尚、三十一年度は文学部高橋盛孝教授（十二月出発予定）、商学部植野郁太教授、経済学部杉原四郎教授が決定しており、内地研究員は法学部木村健助教授が本年十月から六ケ月間研究に従事されている。



天六体育館における第一回評議員会

論壇

評議員の責務を自覚せよ

今回の選挙は八月中旬に各候補者に対して、候補者に推せん決定した旨を通知したのである。従って選挙活動はその頃から初まり九月二十五日の投票締切りまで、約四十日間は「関大選挙」として社会に時ならぬ選挙風景が展開され四方山の批判の中に八十四名の評議員が決定し、私立学校法及び寄附行為の定むるところに従って評議員会という大学議会を通じて大学経営に努力される訳である。選挙によって選出された者は当選することの栄誉が目的ではない。多数選挙人の期待に応えるために、当選後の仕事が大切である。評議員として真の活動がなければならない。然るに第一回の評議員中には遺憾ながら、そうでない者が相当数あったことは事実である。本年四月迄の統計を見ると、評議員会の招集回数は十六回である。そのうち全部欠席者が四名、一回のみ出席者が五名、二回が五名、三回が四名、四回が三名、五回が一名と云う実情であった。これは評議員会の運営自体にも再検討を要することながら、評議員その人が評議員会を通じて任務を果さねばならない自覚の欠除と云い得るのである。結果から見れば極めて無責任であり、何も知らない母校愛に燃ゆる選挙人に対する冒涜でもある。新評議員の今後四年間に斯様な不心得があってはならない。又大学の現状に深い関心を以って研究を続けるならば斯様な怠慢は許されない自覚の念が解決することと思われる。

私立学校法第四十三条は規定して曰く「評議員会は学校法人の業務若しくは財産の状況又は役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ若くはその諮問に答え、又役員から報告を徴することができる」と、又第四十一条には「理事長は評議員総数の三分の一以上から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から二十日以内に、これを招集しなければならない」とある。又寄附行為第二十条には評議員会の議決事項が、第二十一条には評議員会の諮問事項が夫れ夫れ定められているが何れも評議員個人ではなくして、評議員会である。それ故に評議員の責務は評議員会に出席し、議事に参加して、これを慎重審議し、以て大学経営の根幹事項を決定し、業務執行機関の理事会や監査機関の監事の責任の発祥体となり、分担者となり解除者とならねばならない。依て以てその使命の重且つ大なることの自覚と遂行を敢て要望する。

就職と教授

来年三月卒業して社会の職場に就職する学生は大学入学試験の苦悩の比ではない。全く必死そのものである。日頃は関大学生として抽象的、象徴的な自惚れや自負で過して来たが、さて就職採用試験に臨んで見ると、語学の弱さ、実務科目の無力さ、応用能力の浅薄さに今更自責の念に泣き、痛恨遣る瀬なきものを覚ゆる。又口答試問や面接に臨んで見ると、実業社会人は関大教授の名を知らないものが多い。著書を知らない、講演や論説に触れたことがないと云うので極めて不利な条件に置かれていると云う。これが一般の声であるらしい。実際に吾々実社会に於いては、生産性の向上とか、産業の合理化とか、経営の科学的管理とか、輸出の振興、中小企業対策等の諸問題についての研究関心は極めて深い。従って如何なる業種と雖も研究会、講習会機関雑誌、機関新聞を持たないものはない。又書店の参考書あさりや、定期刊行専門雑誌に相当の留意と購読が続けられている。にも拘らず関大教授の講義、講演、著書発表記事の余りにも少ないことに肩身が狭い寂漠の情が深い。こんなことが就職にも影響していることを忘れてはならない一事である。

委員會設置など

運営委員13氏決る

人事委員は別項の通り十一月五日の評議員会で委嘱されたが、寄附行為改正委員会のほか今後の評議員会の運営上必要な委員会をはじめ一般運営態勢等を審議研究するために委員を委嘱することになり、同日の評議員会において左記十一氏を挙げ、議長並に副議長を加えて十三氏で運営委員会を構成することになった。

委員氏名（五十音順）
阿部甚吉、池田信之助、江里口春志、大小島真二、岡野衛士、榁本信雄、門上敏夫、寒川喜一、寺西武、戸根泰雄、長柄金吾、村上精三、山崎敬義

中務氏ら七氏

人事委員に選任

十一月五日の定例評議員会において、職員の任免に関する規定に基づく人事委員には左記の七氏が選任委嘱された。

関豊馬、竹沢喜代治、中務平吉、西本寛一、野間秀泉、村尾静明、吉田一郎

木立繁る學園に

校友の記念植樹

寄附申込み受付中

母校関西大学では、さきに拡充五ケ年計画をたてて校友各位から寄せられた多額の特志寄附によって予定の通り第一期学舎の新築をはじめ、図書館の増築、第一高等学校、同講堂、新築などを完了し引つづいて第二グラウンド、天六体育館、第三学舎の新築など或は竣工し、また完成を急ぎつつある。

大学では学問の府に相応しい環境にする造園計画を立てて学園緑化を図ることになっているが、この計画に共鳴して篤志校友並に支部や職域会から植樹寄附の申込みがあり、当局は校友各位の母校愛に感激している。

大学ではこの寄附による樹木には寄附者名を録して永くその芳志を伝えることにしているが、これら記念植樹が亭々とそびえ茂ることになると一偉観であり、こよない記念と云えよう。

樹木単価
▽楠（高さ十尺、巾七尺、太さ目通一尺）　一〇、〇〇〇円
▽銀杏（高さ七尺、巾三尺太さ四寸）　三、〇〇〇円
▽南豆ハゼ樹（高さ八尺、巾五尺太さ六寸）　六、〇〇〇円
▽山桜（高さ七尺、巾三尺、太さ二寸）　五〇〇円
▽ユーカリ（高さ八尺、巾三尺）　一五〇〇円
▽メタセコイア（高さ四尺〜五尺）　一、五〇〇円

なお記念植樹の御申込みは大阪市大淀区長柄中通二、関西大学校友課、振替郵便による御送金は大阪二二八七五番

学部長の改選

▽法・文新任、経・商再任

九月二十七日付で任期満了の各学部長選挙が、各部教授会で開催され、法学部長に池垣定太郎教授、文学部長に壷井義正教授が新選され、経済学部、商学部は再選された。

法学部長	教授	池垣定太郎
同部長代理	教授	桜田　誉
文学部長	教授	壷井　義正
同部長代理	教授	横田　健一
経済学部長	教授	森川　太郎
同部長代理	教授	高木　秀玄
商学部長	教授	賀屋　俊雄
同部長代理	教授	河野　稔

池垣教授略歴　大正二年京都府生、昭和十二年京大法学部卒、同廿五年四月本学法学部助教授、廿六年四月教授となり商法担当、卅一年十月法学部長となる。

壷井教授略歴　明治四十五年大阪府生、昭和十二年東大支那哲学科卒、同廿一年本学講師、廿一年教授となり東洋哲学担当。卅一年十月文学部長となる。

校友総會御案内

昭和三十一年度校友総会並に講演会を左記の通り開催致しますから万障御繰合せ御出席賜り度御案内申上げます。

追て其後竣工致しました第二グランド、教育会館と新築工事中の第三学舎等施設の増強状況を御高覧願いたく重ねて母校学舎を会場と致しましたので校友各位御誘合せの上御参会下さる様申添ます。

尚準備の都合上御返信は十二月三日までに御投函下さい。

昭和三十一年十一月十六日
関西大学校友会会長　岩崎　卯一

記

日時　昭和三十一年十二月八日（土）午後一時晴雨不論
場所　関西大学千里山第一学舎講堂
会費　金参百円也（当日御持参）
総会議題　事業並に会計報告、会則改正、其他
講演　欧米の国情と民俗
　—外遊の印象—　関西大学々長 法学博士　岩崎　卯一氏
　題未定　読売新聞東京本社 欧ソ特派員　戸川猪佐武氏
終了後　懇親会

"天六体育館"と"教育會館"

相ついで竣成

二部学生待望の体育館は天六学舎の西隣にその瀟洒な姿を現わし、すでにバスケットをはじめ体育各部が終日練習を励んでいる。総坪三七五坪で、体育室の外研究室、医務室等を設備している。本年秋の関西学生バスケット選手権試合は同体育館を使用された。

一方千里山大学外苑の野外音楽堂の上に教育後援会（会長石井寿一氏）が大林組の手で新築中であった"教育会館"もその工が進み、すでに外部足場を取はらい、木立ちの間にてスマートな姿を現わし、近日落成の上は[illegible]れて、学生教職員の会合、地方父兄の宿舎にも利用される。

日本学術会議会員選挙に

本学より三教授立候補

十二月十一日に行われる日本学術会議第四期会員の選挙に当り、本学教授文博魚澄惣五郎教授は第一部に、法博中谷敬寿教授は第二部に、経博矢口孝次郎教授は第三部にそれぞれ立候補された。

千里山大学外苑に新築された教育会館（上）と天六学舎の体育館（右）

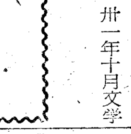
大臣賞に輝く
最高位の技術
株式会社
片野洋服店
大阪市東區北濱三丁目三九
電話北濱㉓ 代表〇五六五番 〇五六六番 〇五六七番
大阪有名大店加盟

海外往来しきり

川上・松原・高橋教授

アムステルダムの国際社会学会に出席した岩崎学長が九月二十九日帰学されたのに引きつゞいて、法学部川上敬逸教授が欧米在外研究を終えて十月十五日帰学されたが入りかわりに経済学部松原藤由教授が十月十一日羽田空港発一ケ年の予定でアメリカに向い、このところ往来頻繁である。

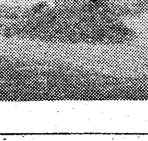
松原教授短信　十月三十一日にウェーキ、ホノルルを経由してサンフランシスコに着きました。私の英語はよく相手に通じますが、聞くことがなかなかむつかしいです。しかしなれましょう。ケーブル・カーで見物に歩いたり、映画を見たりして英気を養っていますチップではなやまされます。この国はオールマイティダラーです。今夜シカゴに発ちます。（十一月一日）



松原教授

同教授は"産業構造の諸問題"が主要研究課題で、アメリカではジョンスホプスキンス大学で六ケ月間研究ののち、欧州の諸大学を訪れる。

高橋盛孝教授　東洋の言語と民俗学を専攻して大学院と文学部で支那文学史や人類学を担当しているが、来る十二月初旬に六ケ月の予定で外遊される。ウララ・アルタイ語の研究とヨーロッパにおける最近の研究を調査するとともに彼我の研究交換が主目的で、アメリカではハーバート大学ヤコブソン教授に会って三ケ月、ついで瑞典のストックホルムでアジヤ考古博物館長カルル・グレン氏やウプサラ大学のアンケリア教授に会うことになっているが、グレン氏は支那語学の大家でありアンケリア教授はアルタイ語学に堪能とのことである。



高橋教授

平和園
大阪ナンバ 戎橋筋角
中華料理
TEL 戎（64）1553・1554

華の雫

関西大学を彩る人々の訪問記事は、まことに心温まるものであるが、中でも八月の紙上に出た司法試験に満十九才で合格の記録と、日本一若い裁判官という二つを持つ吉田秀文君と、司法試験パス関大女性第一号の鈴木清子さんの記事は、異色のものとして文句なしに好感が持てた。何といっても若い者の力はぴちぴちした躍動を感ぜしめる▼折柄本年度司法試験の天王山、第二次試験に合格した大阪の関係者四名の中に母校出身の繁田リヨ子さん（二十七才）の名を見出したことは限りない喜びであった。これこそ早くも鈴木女史に続く女性第二号として、華やかな色どりを添えるものである。▼ここで思い出されるのは筆者の畏友故戸田省三君である。鳥取県の倉吉中学校を出て上阪し、大阪駅附近のさる運送会社に勤めながら、しかも妻子を抱えての晩学であったが、大変な勉強家であり且つ常識家であった▼専門部法科に在学中行政、司法の両試験に合格し……久井専務理事も学部在学中に司法、行政にパスした人であるが……卒業後は故山岡順太郎総理事秘書となって、更らに外交科の学科試験に合格、もう東京へ往復する旅費が勿体ないからと言って、人物試験を放棄した偉才であった。そして母校関大の留学生としてロンドン大学に遊学中、客死したのであったが、何時までも惜しまれる人物である▼こんな卒業生ばかり出しておれば「あ法学部」とか「あ関大」か、などと揶揄せられることはないであろうのみか「ああ、法学部」ですか、「噫！関大」ですかと敬意を払われ、学名も大いに上るわけであるが……さてこの節の学生の学力と品性とは、一般にどんなものかと案じている折柄、この程天六学舎体育館の開館式席上山田学生部長から聞いた言葉は甚だ悲観的であった「一流会社の就職試験が逐日発表せられているが殆んど全部採用に至らない、二ケ所、三ケ所受けさしても皆落ちて来る現況だ。然もその合否を本人から報告に来るのは殆んどない」とか▼就職戦線の峻厳さと、それだけに縁故採用もある事を勘定に入れて、同情しながらも尚且つ少しだらしないのではないか▼時は今読書と思索の秋、ひとり学生を責めるばかりで足りるのではなく教授陣営の熱意と学校当局の企画と校友諸君の協力とが要請せられねばならない▼「ああ！関大ですか」の称揚はかくしてのみ得られるのである。

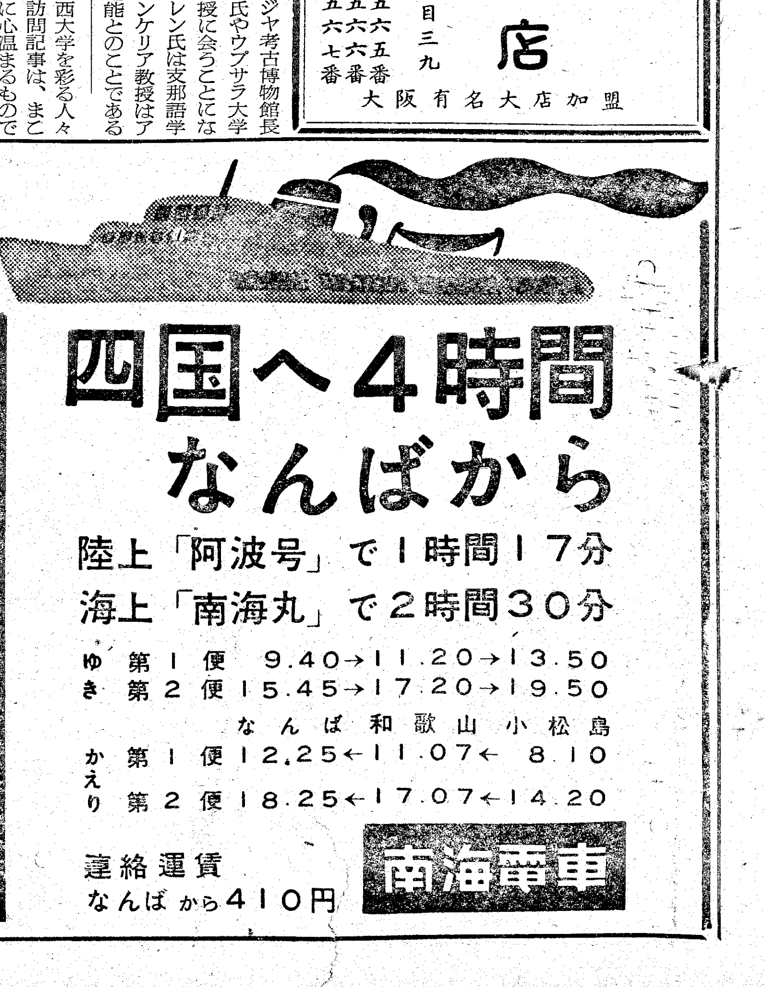
元関西大講師 弁護士 水本信夫著
家屋明渡の正当理由
形成過程と解約権
家屋明渡問題解決の決定版　定価 七〇〇円　送費 五〇円

大阪地裁判事 竹沢喜代治著
租税刑法の実際的研究
租税刑事裁判の実務経験から発表された実務書　定価 六〇〇円　送費 五〇円

大阪市北区牛丸町52
大同書院出版株式会社
電話大阪（34）0326
振替大阪65000

堂々15万坪に開く大菊花パラダイス
あやめ池大菊人形
10月1日→11月25日
福引つき前売入場券発売 130円
特賞 三菱家庭電気器具一式 ほか3等まで多数
▶前売券発売所
近鉄主要駅・近鉄観光案内所・奈良電案内所・日本交通公社・南海交通社・毎日新聞販売店
•豪華菊人形「忠臣蔵」見流し28場面
•松竹歌劇 秋のおどり
グランドレビュー「忠臣蔵」全20段
米花真砂子 若草かほる 星ひろみ 真城のぶ 範囲加津美 ほか総出演
このほか 大動物園、動物サーカス、菊花ロープウエー、菊の観光列車、飛行塔、田川村合掌造り民家、遊戯機具など
主催 毎日新聞社
近鉄奈良線 あやめ池遊園地前

新発売
いつでもすぐ役に立つ御家庭の常備薬
痛い・かゆいもすぐとまる
きず できもの かゆみ しもやけ やけどに
フジサワ
キシロ軟膏
藤沢薬品 大阪市東区道修町
3gチューブ 100円
●8円切手同封、新聞名御記入の上、お申しこみ次第1g入見本送呈



四国へ4時間 なんばから
陸上「阿波号」で1時間17分
海上「南海丸」で2時間30分
ゆき 第1便 9.40→11.20→13.50
ゆき 第2便 15.45→17.20→19.50
なんば 和歌山 小松島
かえり 第1便 12.25←11.07←8.10
かえり 第2便 18.25←17.07←14.20
連絡運賃 なんばから410円
南海電車

31年度 校友総会には

海外事情と時局講演

12月8日 千里山第一学舎で

毎年一回開催することになっている校友総会」31年度の総会は別項案内の通り、来る十二月八日（土）千里山第一学舎講堂で開催する。

本年度校友総会の議題は昭和三十年度中に実施した校友会事業の報告と収支決算報告承認の件並に常議員の増員、監事を新におくことを含む会則の改正が主たる案件である。即ち同年度は母校関西大学創立七十周年に該当し、記念事業の完遂に協力することに校友活動の重点をおき、校友会の認識普及を図るため新聞“関大“を発行した。校友会役員の改選、副会長並に常議員会を総務、財務、組織事業、広報の五部門に組織を拡充して会務を分掌して活動を展開した。常議員の増員については代議員会での要望もあって現在の三十名を五十名に、又新に監事三名をおいて計理監査を分明にし、常議員の執行機関の他に監査機関を設けることを意図したものである。

議事の終了後引きつゞき特別講演にうつり

欧州各国の国情と民俗　学長・法博　岩崎　卯一氏

題未定　読売新聞東京本社欧ソ特派員　戸川猪佐武氏

両氏の講演ののち、懇親会を開くことになっている。

住所判明の校友にはもれなく往復はがきによって案内状を発送することになっているが、返信は校友名簿の原簿を正確にする資料として重要でありますので、相当欄に記入の上、出欠の如何にかかわらず御返信下さることを特にお願いします。校友名簿の正確を期するのはこれ一に皆さんのご協力にまたねばなりません。

新評議員会の在り方

評議員有志座談会

選挙規定の改正など 評議員會の責務重大

理事長、専務理事もきまり、大学運営の陣容が一応整って来た今日、これが審議機関である評議員会は今後の四ケ年間いかに運営さるべきか、また選挙を通じて改正し改善さるべき点などについて有志評議員を招き十月二十五日天六学舎で広報部主催の座談会を催した。

三島　本日は広報部主催で有志評議員の座談会を催しました。大学の役員も決まり、評議員の各位は今後四ケ年間大学のために御尽力願うので抱負なりご意見なりが大いにあろうと思いますご案内しました尼崎信用金庫理事長松尾高一さん、大阪府人事委員会事務局長寒川喜一さん、大阪市公聴課長村上精三さんは所用で出席できませんでした。では長柄副会長に司会をお願いします。

長柄　公選二回目の選挙を通じて校友並に一般社会の人々がわが大学に対して関心を深めた様に思う。ざっくばらんに意見を出して頂きたい。

岡野　従来大学について直接関係がなかったので、候補者に推薦されてさっぱり見当がつかなかった。選挙運動をして当選する意思はなかったが、クラブのメンバーや支部の方で尽力して下った。選挙を通じて感じたことは、公選によるのはなるほど理想としてはよいが、選挙運動はどうかと思う。母校の事情にくわしい有識の人々によって推薦によるのがいいのではないかと思う。

岡野氏

宮崎　候補者の推薦状を手にして他の九九人が判らん。それに選挙事情もわからず全く面くらった。選挙について記憶に残っているのは白票集めの悪い面だけだ。世の識者によい感じを与えていないと思う。なぜ過去の評議員会で取りあげて打つ手はなかったか。四年後の問題として選挙規定なり、寄附行為を改正すべきだ。

阿部　選挙に伴って大学に関する関心は確かに高まった。しかしよい批評はいゝたがらない。何であんなに熱心にやらねばならんのかと噂された。良識として学校の選挙だから紳士的にやるべきものとしている。選挙運動を取締れと云われても今の規定では選挙委員は何もできない。管理委員が候補者に出ている現状だ。岡野さんの云われるように選挙がよいかどうかと云うことも更に検討を要しようが、選挙委員は推薦評議員として推薦の数をふやすべきだと思う。

右から宮崎、西村、阿部、岡野、長柄、久井、三島、門上、佐伯の諸氏

久井　選挙委員に理事、監事が出ているのはお手もりになるとの非難もある。寄附行為や選挙規定の改正は早急にやらねばならぬ。

西村　明大に行ったとき、評議員の選挙はえらいことになるぞと注意を受けていた。しかし前期の評議員には昭和十五年以後の出身者が入っていない。そこで寄附行為の改正をするのはわるいではないか、若い人が出てからそこで改正したらよいと云う意見をもっていた。

西村氏

阿部　前期の評議員会でも改正の成案は一応できていたし、更に検討を重ねて反省資料のぬくぬくである現在改正すべきであろう。

佐伯　選挙方法も今回は前回を踏襲した。単記か連記かそれも考えるべきだ。

長柄　選挙開票場に広報部の立入り申出でを断ったが、この機会に事情を説明しておいては。

久井　開票場の設備が手狭まであった関係だけで、別に深い意味はなかった。

出席者	（敬称略）
評議員会議長	阿部　甚吉
評議員	岡野　衛士
理事	西村治三郎
評議員	宮崎　平
専務理事	久井　忠雄
主催者側	長柄、三島、門上、佐伯、神屋敷

阿部　新聞関係者と云うことで、広報部からと云うことが徹底しなかったのではないか。

三島　いやはっきり広報部長から選挙委員長に申込んだ。もっとも文書ではなく、電話であったが。ともかく新聞“関大“が校友会の機関新聞であるとの理解が足りなかった。

佐伯　われわれは“明るい選挙”“公明な選挙開票風景“を報道したかったのだ。今後は得票を刻々発表できるよう手ぎわよくやるべきだと云うことをこの際はっきりしておく。

長柄　結論として選挙委員は、選挙事務を厳格にやっている、公正公明だとの自信をもちすぎたのだ。

今後の四年は 重點を内容充實に

長柄　専務理事に再選された久井さんの感想を伺いましょうか。

久井　過去四年間の評議員会は絶対の信頼をもってくれた。理事会に委せきりで、ワンマンとも云われたが、各種委員会を設けてしばしば委員会を開いて意見は十分聞いたつもりだ。

今後の四年間は二億円の借金を背負っているから建築などは制約を受ける。輪奐の美を整えるなどと云うことは邪道だ学生は真剣に勉強すればよいのだとも云われるが、環境の整備も大事なことだ。過去四年間にも教授、助教授、助手も増員し、研究室、研究図書、教授の海外留学、給与の倍増年金制度など実施して来たが、内容充実は立ちおくれている。今後の四年間は専ら内容充実に傾注しなければならないから臨時費的なものは制約を受ける。今まで以上評議員の皆さんと密接な関係を保ち理解を深めて御協力を願いたい。

久井氏

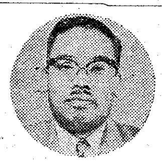
長柄　今後の四年は期待される。評議員は十分責任を感じている。

久井　今度は相当はげしい選挙をやって来ているので、みな勉強して出て来ていると思う。一回も出席しないような評議員はなかろう。

運営委員で十分な検討

長柄　阿部さん、評議員会議長の権限とか抱負とかについてのご意見を……

阿部　評議員会の在り方についてだが、評議員はそれぞれの立場において主張することが大事であり本務だ。「和不同」は一体になることではない。理事会の案をよく検討して一体として寄与せねばならぬ。



阿部氏

評議員会活動を活発にするため多方面から運営委員を選んでそこで如何なる委員会を設けるか基本的に十分検討してもらう。そして設けられた委員会委員を評議員会で選任し、その委員会で責任をもって十分検討する。従来の財務委員会であれば決算に表われた結果を評議員会に報告せらるべきものではないかと思う。

久井　評議員会の委員会は理事会の諮問機関として理事も入るべきだ。

阿部　性格による。決算、監査委員のように独自のものもあろう。

三島　前回の委員会は八部門であった。人事委は次の評議員会で選ばねばならぬだろう。

評議員には十分研究の機会を

久井　来月五日の評議員会で選任したい。五日の評議員会には事業報告と、従来やっていなかった中間決算報告をしたい。又年次計画を、十ケ年計画ぐらいを立てて、企画、財務等の委員会ができたら図りたい。今後は十分説明もし、又相談もしてゆく。

門上　私立学校法に出ている評議員に研究の機会を与えるべきだ。従来はこの点軽視されていた。理事、監事は絶対の権限をもつ様に思われていたらうみがないか。又議長の権限がない。たゞ評議員三分の一から意見の出た場合評議員会を開くことができるだけだ。今後委員会で話合できるような形にもってゆくためには予算が必要だ。議長の権限で幾何と云うように考えて貰いたい。

長柄　議長権限予算は考えられていない。

久井　委員会の費用は考えなければならんだろう。

門上　継続的に実施できるように

西村　事務局の様なものも必要があろう。

門上　良識ある措置が必要。

長柄　専門委員会で検討すべきだ閣僚からも。

門上　勉強する人が次の理事会に出るようになるのがよい。

西村　運営に参加してもらうことが必要。年三回出てくるだけではイエスマンになるより仕方がない。

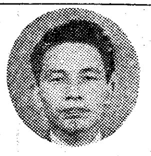
久井　理事会には月計表を出し、認識をもってもらう様にしている。

岡野　自分の経験では大綱でよい細微にわたるのはよくない。専務の権限に一任すべきだ。

佐伯　人によりけり、ひっぱってゆく。

長柄　理事会の議事録を出す考えはないか。

宮崎　大学の財政面だが、立場立場で貢献すること、そうした面から府市などから補助を求めるべきだ。評議員が皆一体となって援助貢献すべきだ。



宮崎氏

佐伯　関大はPR活動ができていない。同志社など記者室を設けており、関学、神戸大など活動している。関大は史学が出ている位ではないか。

長柄　新聞代表の評議員が出ていない。不自由である。出せる様に考えられねばならぬ。

▼結論としては今後の四年間は内容充実に邁進して学的水準を高め、有為の人材を社会にどしどし送って大学の声価を宣揚することが大学関係者に課せられた大きな責務であることを強く銘記しようと云うことであった。（文責記者）

関西大学を彩る人びと

本紙に毎号“関西大学を彩る人びと“として各界に活躍しておられる校友を紹介しているが、多分に京阪神地方に偏するうらみもある。たまたま安井校友課長が前月東京出張を機に、二三氏を訪問して貰いましたので本号に収めることにしました。小説家の井上友一郎氏の記事は次号にのせる予定である。

議員會館に経博の 山本勝市氏を訪う

記者は前日打合せの定刻、即ち十一月二十六日午前十時、衆議院第一議員会館に山本勝市氏を訪ねる、同氏は元和歌山高商教授、国民精神文化研究所員、大東文化学院教授等の肩書を持っておられるので、初対面の記者は堅苦しい学者肌の“人となり“を予期していたが、お逢いして気軽な好老爺然たる風格に接し、ホッと胸を撫でおろした。

同氏は埼玉県第四区選出代議士で議員当選二回、元通商産業省政務次官、現在自由党政調副会長である。

「先生の御生地は、又関大での学生々活について御話願います」

「私は和歌山県東牟妻郡四村で生れました。神屋敷民蔵君と同郷ですよ、熊野川の上流、本宮の隣村で近くに小栗判官の湯治した湯峯温泉があります。若い頃その土地の小学校の教師をしていましたが、青雲の志もだし難く大阪の地に飛出しました。そして北区真砂町にあった、弁護士福島武之助と云う人の書生になって、夜関大の法科に学びました。また関西甲種商業の生徒の家庭教師をして、毎日福島にある学校から今の大正区三軒家まで歩いて通ったこともありますよ、何しろ電車があっても電車賃の無い勤労学生でしたからね」

「恩師、学友についてどの様な方を記憶しておられますか」

「私は大正八年組の八芦会ですが、憲法の森口繁治、民法の曄道文芸、英語の小川忠蔵、小久保定之助の諸先生を憶えています。学友では元富山県知事の矢野兼三故人ではあるが台湾総督府にいた中村八十一、大阪で弁護士をしている間狩有遵の諸君等ですね」

「経博の学位論文はどちらで取得されましたか」

「一橋大学です、論文は“計画経済の根本問題“でした。私は関大の専門部を中退して三高へ入学京都大学の経済科を卒業後、和歌山高商の創立に伴い、同校の教授になりました。それから東京の文部省国民精神文化研究所へ転任となり、十ケ年在勤しました。学位論文を出身学校に出すと、往々にして第三者から情実ありと誤解されるのがいやで一橋大学を選びました」

「政界に乗り出された経緯について御話下さい」

「終戦と同時にG項のパージにかかり昭和二十五年にそれが解除になった時、鳩山一郎氏が自由党をつくる時、私の著書を鳩山氏が読んでおられたりして、私も幹事長の大野伴睦氏と共に入党しました」

「海外留学は……」

「第一回は和歌山高商時代に一年ドイツへ、第二回はフランスを主として三年間、第三回目は過日三十年振りに国会からアメリカへ生産制視察に行ってきました」

ここで記者は次々と踵を接する来客の為に思いを残しながら、記念写真を撮って同氏今後の御活躍を祈り辞去することにした。

（同氏現住は埼玉県北足立郡草加町四七三、電話草加五二四番）

写真説明　（上）衆院第一議員会館で語られる山本勝市氏と左は筆者（下）は“明治座“で舞台げいこの小閑をくつろがれた北条秀司氏

天商時代に宝塚（かげき）脚本が 入選した北條秀司氏

浪速の地から月光号を橋渡しに東京駅へ降り立った記者は、宿へ着くなり、劇作家として第一線に巨歩を占める多忙な同氏との面会を憂慮して、鎌倉のお宅に電話をかける。おたずねすると「本日（十月二十四日）は明治座の舞台稽古があるのでそちらに参っておりますから都合を聞いて下さい」とのこと、直ぐ方向転換して明治座に電話する。

「水谷八子重の“智恵子抄“の舞台稽古に来ておりますが、その始まる前に逢いましょう」との快よい御返事である。

そこで校友会東京支部長中山幸市氏と同伴で、明治座へ行く。華麗な表玄関から奈落の様な暗い舞台監督室へ案内される。監督室の同氏は狭いガラス窓を透して今、新国劇演出、同氏原作“霧の音“の舞台を凝視している。傍わらに時計と台本がおかれている、何か厳粛な、こんな雰囲気の中では記者も滅多に言葉がかけられない。幕間まで暫らく沈黙が続く、やがて観客席から嵐の様な拍手が起って幕が落ちると、クルリ廻転椅子を廻して「やあ!お待たせしました。北条です」と豊かな体躯を記者に向ける。

「商業学校出身から作家に入った動機について御話願えませんかまた脚本を作られる様になったのはいつ頃からですか」

「私は長堀の材木屋の長男として生れました。親が商売人ですから商業学校へやらされましたが、もともと文学が好きで、天王寺商業五年生の時、宝塚歌劇の台本に応募して当選（賞金二十円）“コロンブスの遠征“が上演された、それが切っかけです、私が文学方面に志向して宝塚少女歌劇の文芸部に入るについては親族会議が開かれた。」

「秀さんには秀さんの天分に合う方をやらせたらよい、材木屋は弟に任して」

と云うことになりました。歌劇団に入って随分、小林一三さんにも可愛がられましたが、何分若い私と団長の吉岡重三郎氏とは意見が合わず、そこを辞めて東京へ来ました。東京へ出て後悔したのは、当時世を挙げて左翼演劇の盛んな時で、私は失望して演劇と全然かかわりのない、日本電力傍系の箱根登山鉄道に支配人格で十年余り従事しました。

「関大の在学中はいつ頃ですか」

「宝塚の文芸部在職中に、関大に文学科が出来たので入学しました、同期生では今母校文学部教授の吉永登君、日本詩文会の藤本浩一君がおられます」

「箱根登山鉄道以後は……」

「其の後、芸術至上主義の台頭となって、私は岡本綺堂先生の門をたゝいて其の門下生となりましたが、関大の福島学舎時代を描いた脚本“表彰式前後“が新国劇と井上正夫丈との奪い合いとなり当時の新聞種になり、それから劇作を続けております。

「あなた御自身で自作のものでよかったと思われるものが必ずある筈ですが、坂田三吉をモデルにした王将等は大変評判が良く、大阪では絶讃を博しましたね」

「王将は兎も角として、関大の創立に貢献せられた小島惟謙先生の“司法権“も新国劇で上演しましたよ」

「現在の母校を客観的にみて、その感想はいかがでしょう」

「御無沙汰しているので、トント様子もわからず、唯、福島学舎時代と異って、千里山学舎が非常に立派だと聞いています。その内容についても、より以上充実せられる様御祈りしています」

北条秀司氏は本名飯野秀二、明治三十五年生れの当年五十四才、本籍大阪市西区長堀南通り四丁目二番地、大正九年大阪市立天王寺商業学校卒業、大正十三年本学専門部文学科入学、昭和二年同科卒業、現在日本演劇協会専務理事、舞台社主宰、

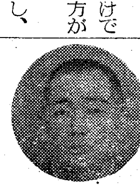
住所は鎌倉市岡本八三五番地、電話（大船局）二三九番。

消息の束

▽梅原貞治郎氏（大11専法・弁護士、校友会常議員）大阪地労委の公益委員に推薦された。

▽鋳方　貞亮氏（経済学部教授・農博）大阪府建設工事紛争審査会委員に推薦された。

▽野間秀泉氏（昭九大哲）仏陀御隆誕二五〇〇年に当り、その式典が釈尊誕生のネパール国で行われるに際し、全日本仏教会から派遣される代表団の一人に選ばれた本学評議員野間秀泉氏は、去る八日関係者多数の見送りをうけて特急「はと」で上京、同十日羽田空港から飛行機で印度カルカッタへ赴いた。尚同氏は第四回世界仏教徒会議並にユネスコ会議にも出席して仏跡を巡拝の後十二月十七日に帰国の予定である。



野間氏

▽大石雄一郎氏長男慶事　校友会副会長大石雄一郎氏長男雄爾氏（昭27大経卒・朝日新聞運動部記者）は松本一雄氏二女和子さんと十月十二日新大阪ホテルで華燭の典を挙げた。

▼今井康兼氏岳父逝去　本学監事大阪機械製作所常務今井康兼氏岳父本田菊太郎氏は十月二十七日逝去された。

▼池田重吉氏（明治24関西法律学校卒）永く校友会福岡支部長をされたが、十月一日逝去、遺族は福岡市地行西新町一八、池田重雄氏

▼小川成雄氏（大11専商）公認会計士、校友会三重支部長をされていたが十月三日逝去　遺族は津市丸ノ内本丸二〇八四妻芳栄氏

▼高垣善一氏母堂逝去　本学評議員、和歌山市長高垣善一氏母堂は十月二十六日逝去された。

▼角田好太郎氏夫人逝去　前評議員角田好太郎氏夫人千代子さんは九月二十六日逝去された。

▼杉山昌弘氏（昭29学一法）十月一日逝去。

会員異動（続）

▽加納喜市（昭7大法）池田市井口堂町四一八

▽貝辻義一（昭31学一新）奈良市松ケ中町五一奈良カメラ内（奈良カメラ店）

▽栢木　実（昭11専二商）明石市大明石三八九

▽北村徳太郎（推）東京都渋谷区神山町一六（衆議員議員）

▽菊久池博（昭8専二法）西宮市常盤町二五（近畿相互銀行取締役）

▽木下隆敏（昭28学二法）吹田市下新田三六七（大阪市土木局庶務係）

▽木下昌夫（昭15大政）福島県磐城市高山三四日本水素工業社宅（日本水素工業倉庫課長）

▽黒住肇（昭22大経）富山市永楽町二四（山一証券富山支店長代理）

▽倉内芳雄（昭16大経）八尾市木戸三五八（瓢簞山映画劇場経営者）

▽小松和幸（昭30学一法）出雲市大津町（島根県広報文書課）

▽高円孝（昭30学一経）魚津市真成寺町（富士産業銀行魚津支店）

▽小阪吉夫（臨16専二商）大阪府泉北郡信太村聖ケ岡（尼崎市農務課農務係長）

▽小阪和夫（昭25学一経）尼崎市東本町四ノ一六一（尼崎市中央保健所）

▽坂根護（昭23工専）島根県邇摩郡温泉津町大字福光

▽斉藤忠夫（昭31学一経）豊中市上野五ノ一二七

昭和31年度 会費拂込者【6】

明石吉孝、浅田文男、浅野信一荒木行雄、池田正治、池田新一池田成一、石見太一、石崎和枝板垣敏三、稲留秀穂、五十鈴秀夫、今井久次、入江武信、植田竜馬、植村英一、浦野俊章、榎原俊明、岡島喜代治、小川芳徳小田素之、大山純一、大島賢三小野毅、荻野亨、披田昭雄、加藤弁真、片原逸男、片山健三川口雄司、川原長明、河野広次門脇雅夫、神崎伝次郎、木下昌夫、菊池清、衣田繁、北浦謙三郎、北本泰造、北川行雄、清原賢三、国枝勲、楠武城、窪内隆起、熊谷俊男、黒川昭登、小松一夫、小中清治、小阪和夫、小西卓二、小阪吉夫、小山一郎、小峰賢一、小宮官之助、小林三郎、近藤幸一、近藤久市、阪田勇、佐藤宏三、鮫島正弘、沢口季、桟寿、篠崎鵬次郎、清水禎次郎、島田里美、城下正行、杉本佳隆、杉原圭三、須崎元一、住友勝明、鈴木武夫、田中治、田中喜久蔵、田中六夫、田平孝三、田所博、滝沢淫、高尾優、高木藤男、高橋純一、竹田武雄立石芳松、武内嘉信、辰巳浩、辻貴夫、角田文雄、寺田伴嗣、土井三郎、豊田十三郎、中浦茂雄、中西勇、中川広、中井弥六中田久雄、中村清、中村敏雄、中木康夫、中脇邦彦、仲敏夫、長沢健一、長田和久、浪江源治成瀬清美、南野良夫、南田義博仁尾常寿、新田巌、新治長雄、野田恒雄、長谷浄正、秦義和、林義幸、橋川正喜、浜本正信、橋長夏夫、幅野晃、東本忠、疋田昭、広田哲堂、藤井博次、藤田授、古市実、松井良雄、松井碩、前田貞次、丸谷実、三前勇、三並敏亮、村上憲男、村瀬昭夫、森勇、森井庄一、百武通雄、矢荻勉、山上弘、山上三二、山下隆敏、山崎哲英、山本和雄、山田宏、柳瀬幸一、薮内兼蔵、湯浅広通、吉岡敏、吉川昇、吉羽公次、吉本正義、横田長次郎、渡辺一郎、渡辺治明（以上一五〇名、累計二〇九二名）

31年度 校友会費を御払込み下さい

▽**会費は年額三〇〇円**　従来校友会費は年額三〇〇円、別に新聞購読料二〇〇円頂いておりましたが、本年からこれを一元化して新聞は会費払込者に無償お送りすることになりました▽**集金人を差向けます**　大阪及び近傍在職の方には集金人を伺わせますからその際お払込み下さい。職域により御取りまとめ下されば幸甚であります。

集金人　山元文雄、松村肇、杉本佳隆、山本弘文

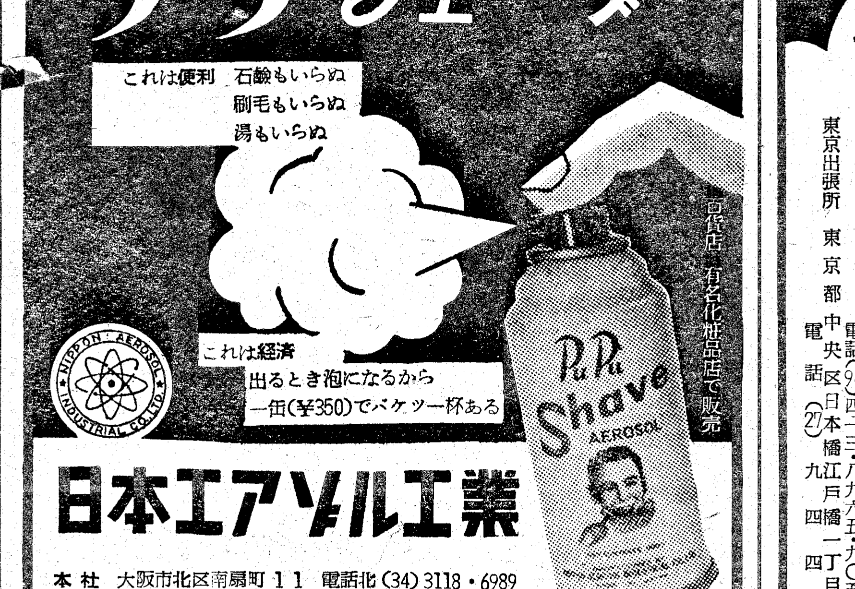
▽**地方校友は振替貯金を!**　地方支部でおまとめ願えれば好都合ですが、もし困難な場合は振替を御利用の上御払込み下さい。

関西大学校友会
振替　五五五九四番

東浦自動車工業株式会社
寝屋川工場　寝屋川市大字太間一八〇　電話寝屋川二六九番
本社　大阪市旭区生江町四ー一〇〇　電話堀川㉟　〇八九〇番　五七九二番　八七一〇番　九八〇二番

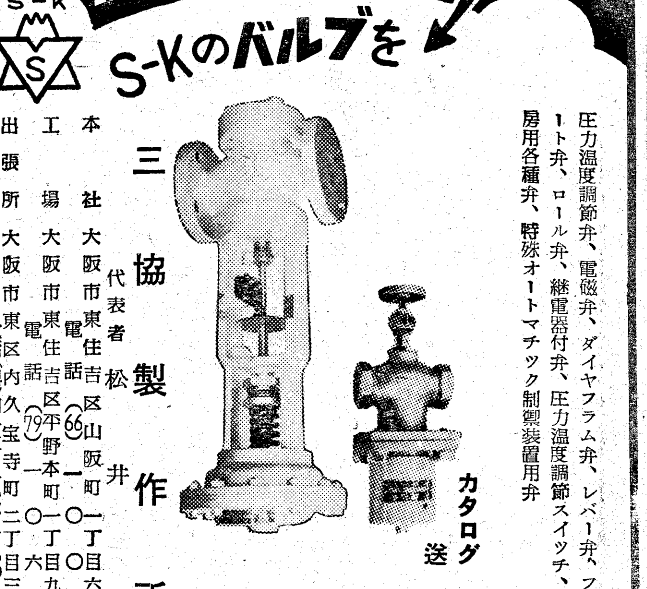
親切丁寧
安心して乗れる
正しい料金
近鉄タクシー
TEL　(77)0591　(77)9001　(75)0155　㉞6025　(77)9541

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂



エアゾル化粧品時代来る!
ププシエーブ
これは便利　石鹸もいらぬ　刷毛もいらぬ　湯もいらぬ
これは経済　出るとき泡になるから　一缶(¥350)でバケツ一杯ある
一流百貨店・有名化粧品店で販売
日本エアゾル工業
本社　大阪市北区南扇町11　電話北(34)3118・6989
工場　布施市高井田中3の30　電話大阪(72)436

Pu Pu Shave AEROSOL
NIPPON AEROSOL INDUSTRIAL CO. LTD.



オートメーションには S-Kのバルブを
圧力温度調節弁、電磁弁、ダイヤフラム弁、レバー弁、フロート弁、ロール弁、継電器付弁、圧力温度調節スイッチ、暖房用各種弁、特殊オートマチック制御装置用弁
カタログ送呈
三協製作所　代表者　松井　剛
本社　大阪市東住吉区山阪町一丁目六三　電話(66)一〇〇三
工場　大阪市東住吉区平野本町一丁目九八　電話(79)一〇六八
出張所　大阪市東区内久宝寺町二丁目三六　電話(94)四二三・八九六五・九〇五〇
東京出張所　東京都中央区日本橋江戸橋一丁目三　電話(27)九四四一

すぐ建つ家の月賦
即時着工の新方式
自由選択式　お好きな時に　お好きな額で　家の建つ日も　御希望通り
全国各営業所
帯広営業所　帯広市西二条南11野村ビル　電話帯広1575・1576
旭川営業所　旭川市六条8丁目左1号　電話旭川7879
札幌営業所　札幌市札幌市立病院新館前　電話札幌(2)7021
盛岡営業所　盛岡市六日町116　電話盛岡3577
仙台営業所　仙台市東四番丁33　電話仙台(2)8060・2050
郡山営業所　郡山市堤下21　電話郡山0787
新潟営業所　新潟市本町通八番丁1357　電話新潟(2)8773
松本営業所　松本市土井尻町56　電話松本1331
群馬営業所　前橋市榎町37銀座通り北側　電話前橋4828
東京営業所　中央区日本橋本町3電停前　電話茅場町(66)9716—9
横浜営業所　横浜市西区高島町1ノ15　電話神奈川(4)3178
静岡営業所　静岡市鷹匠町1ノ21　電話静岡(2)4524
金沢営業所　金沢市尾張町23　電話金沢(2)0985
岐阜営業所　岐阜市徹明通5ノ3千手停西　電話岐阜(2)8275
名古屋営業所　名古屋市中区新栄町交叉点東　電話(9)3015〜6・2087
津営業所　津市大門通地頭領町津624　電話津5833
京都営業所　京都四条大宮電停西1丁北　電話壬生(84)3484
大阪営業所　地下鉄心斎橋下車三休橋南詰　電話(27)0491〜0494
和歌山営業所　和歌山市杉ノ馬場2ノ3　電話和歌山6086
神戸営業所　神戸市阪神電鉄魚崎電停前　電話御影(8)3102・4777
米子営業所　米子市角磐町39　電話米子2270
岡山営業所　岡山市上西川町208駅前通　電話岡山(3)4792〜4
広島営業所　広島市八丁堀56八丁堀ビル　電話中(2)1877
高松営業所　高松市新瓦町琴電瓦町駅前　電話高松4894
松山営業所　松山市千船町61　電話松山2569
小倉営業所　小倉市米町井筒屋百貨店前　電話小倉(5)2777
福岡営業所　福岡市市電大名町電停北側　電話中(4)6318
長崎営業所　長崎市平興善町28　電話長崎3429
熊本営業所　熊本市辛島町87　電話熊本6612
鹿児島営業所　鹿児島市市電柿本寺電停前　電話鹿児島4815
定額式　毎月僅か千円より
公庫住宅の申込及請負・一般現金建築の請負
營業案内無代進呈
最寄りの營業所へ
日祝無休・来社歓迎
授權資本貳拾億円
太平住宅
本社　東京都中央区日本橋本町三丁目電停前　電話茅場町(66)9716〜9・夜9710

＝春、選手権（トリプル・クラウン）、秋＝＝春、選手権（トリプル・クラウン）、秋＝

関大の野望成らず

打撃の不振が致命傷

関西六大学野球

秋季リーグ戦を顧みて

匿名座談会

関西六大学野球秋季リーグ戦は立命の全勝優勝で終了、本命の関大は意外の三位に甘んじた。ここでネット裏の各社記者、連盟関係者による匿名座談会を開き「リーグ戦の回顧」から「東西大学対抗戦」の予想までを語ってもらった。

司会　今秋のリーグ戦は八月に関大が大学選手権を獲得してきた直後のシーズンであり、例年以上の活気にあふれていたと思います。

A　今まで関西と東都はどうしても選手権をとれなかった。それをこんど関大が奪ってきたのだから、ほかのチームも関大がやるのなら自分らもできるという自信をもってリーグ戦にのぞんでいた

C　そのかわり関大は徹底的にマークされた。

B　関大を倒さねば優勝できぬという気持ちが各校にみなぎっていたね。

C　結局立命の全勝優勝ということで終ったが……。

D　今シーズンから関関戦が日程の途中に入り、関立戦が最終となったため立命は調子を巧くもっていけたのもよかった。

B　そういうこともあろうがやはり実力的にみて立命の優勝は順当なところだろう。

C　私は関大が大学選手権で投、打のバランスのよくとれたチームに成長していたから絶対秋も優勝と思っていた。

A　しかしリーグ戦に入ると打者の当りが全然とまってしまった。村山が各校に研究しつくされて春ほどの威力がなかったのも事実だが、投手成績をみても他校にくらべてそれほど悪くはない。三位に甘んじたのは結局打撃不振ということにつきよう。

D　難波、香川それに原田の不振が大きいね。

C　難波にしろ、香川にしろ馬力はあるがもともと穴の多い荒い打者でね、それが早大、日大を倒したころにはかなりスキのない恐しい打者に成長していたのだが……。

B　前にもいったように関大は村山がかなり打たれたが、前川、森本という左腕投手が上達してよく助けていたから、今少しバックに当りがでておれば連続優勝もむつかしくはなかったはずだが。

D　川村監督は後半に入るとあまりチームが当らないので随分とメンバーの編成に迷っていたね

B　なぜ梅田のようなシュアーな打者をもっと始めから多く使わなかったのだろう。

D　橋野よりずっといいんだが

A　橋野は守備が悪いから危い。同大との一回戦でも球の処理をもたついて無用の一点を与えている。

D　選手が慢心していたということはないだろうか。

A　そういうことはないが、受けて立つというか、どうも試合態度が消極的だったとはいえるね。

C　関関戦を失ったのが致命的だ。

C　だが最後の立命に勝てば優勝決定戦にもちこめたのだからね。関学の選手はネット裏で盛んに関大を応援していた。勝つと関学も優勝決定戦に割りこめるから（笑）

関西六大学野球勝敗表（4日終了）

	立	学	関	同	神	京	試	勝	分	率	点
立命	○	2	2	2	2	2	11	10	0	.909	5
関学	0	○	2	2	2△	2	13	8	1	.667	4
関大	0	1	○	2	2	2	12	7	0	.583	3
同大	1	0	1	○	2	2	12	6	0	.500	2
神大	0	1△	0	0	○	2	12	3	1	.273	1
京大	0	0	0	0	0	○	10	0	0	.000	0
敗	1	4	5	6	8	10					

△印引分

D　関大は立命との二回戦では平井、村山を出さずメンバーをすっかりかえていたが。

B　気分一新を狙ったのだろうが、成功しなかった。

A　チーム打率が関学、立命についで三位。守備率が四位、ベストテンに入ったのが橋野と上田だけ。まず三位もしかたがないよ。

B　立命は内橋、鈴木と完璧の投手力に、今秋は念願の打撃が著しく強化されていた。関大が春同様打てず、投手もあまりよくなかったのとはいい対照だ。

D　関学の二位はもうけもんだね。

B　池田監督は投手力がバラバラだし、打撃の調子の波もあまり大きすぎるので今シーズンは落ちるところまで落ちるといっていたが。

D　試合中金切声をあげて選手を叱るし、かなり焦っていたようだ。

A　そりゃ怒りもするよ。神大にすんでのところでいかれるところだったから（笑）

関西六大学野球打撃10傑

（打数26以上）	試合	打数	安打	塁打	打点	打率
津門（学）	13	46	18	24	5	.391
橋野（関）	11	28	10	12	2	.357
木村（学）	13	52	17	23	4	.327
児島（立）	11	40	13	19	6	.325
平岩（立）	11	37	12	14	10	.324
落（学）	13	57	18	23	5	.316
黒田（立）	11	40	12	13	5	.300
河下（学）	13	46	13	14	10	.283
上田（関）	13	46	13	13	4	.283
伊香（同）	12	43	12	16	9	.279

B　立命には負けたが、関大同大を倒したのが二位に留った原因だろう。

C　後半はかなりまとまっていたし、打撃もうんとよくなっていた。

A　同大はすべり出しで非常なファイトをみせていたが、やはり大したことはなかった。

B　闘志は買うが相変らず雑な試合をする。

C　打撃なんか選手が何か思い違いをしているのではないか。スタンド・プレーをする選手がいるしね。

D　同大は力はあるが今のままならいつまでたっても優勝できないよ。

A　神大の五位は順当だが、京大はもうすこし何んとかならないか。大学野球というのが恥しい

C　京大が今のままなら他校からボイコットされるよ。

C　何も相手にプラスしないようなお粗末な試合をするんだから。

A　選手も負けて当然といったような顔をしている。

B　選手の素質が悪いのはもちろんだが、もっと練習すればあもボロを出さずにすむんだが。

C　とにかく京大は連盟発展のガンといわれても仕方がない。

D　今シーズンを総括すればとにかく〝日本一〟の関大が三位に落ち、打倒関大に精進した立命が栄冠をものにした。これは非常にいい傾向だ。関大がここで優勝するのも立派だったろうが、コンディションをいつも最高にもっていくのはむつかしいことだし、力の競り合っているリーグ戦での連続優勝は至難の業というべきだろう。

C　連盟全体の立場からみれば新陳代謝の激しいのは喜ぶべき傾向だ。

関関戦を再び最終週へ

形式的な平等論

司会　リーグ戦のことはそれぐらいで、こんどは連盟の試合運営面について何か。

A　日程編成の問題をとりあげよう。日程の組みかたには一つの基本原則がある。第一週は前シーズンの一位と六位、二位と四位第二週は一位と五位、二位と三位というふうに、だがこれはあくまで原則であって今までは多少の変更があった。東京の早慶戦、関西の関関戦がいつも順位に関係なしに最終週に行われるのがいい例だ

B　今シーズンから関関戦を最終にもってこなかったのは何かわけがあるのだろうか。

C　特定の学校を特別扱いしないためだ。

A　それに問題がある。今まで関西六大学は球場がないし、人気カードはないしで、さっぱり人が集らなかった。これではいけないというので対抗意識の強い関関戦、同立戦を特別にクローズ・アップして力を入れ、とにかく今の盛況にもってきたのだ。

D　関関戦を最後に行うのは同立から強い反対があったそうだが。

A　その気持も判るが、同立を最後にしたいというならともかく、どちらも中途半端な日程にするのはどうかと思うね。

C　連盟の理事には状勢判断に乏しい人が多い。従来のカードで今まで折角順調にリーグ戦がのびてきているのに、形式的な平等論をふりかざして改悪したという感じだ。

D　事情を知っている関係者は心秘かに関関戦を最後にもってくることを賛成している。

A　しかし最近は関関戦より同立戦の方が活気がある。

B　関関両校の学生が本当に関関戦を伝統の試合とするにはもっと応援に行かねば。

C　いずれにしても関関、同立の二試合で一シーズンの半分以上の収入をあげていることをよく考えて、この二つは慎重に扱ってほしかった。いずれ悪かったとなれば関関戦を最後にもどすだろうが。

A　発展途上にある連盟の適確な状勢判断を望んでおこう。

雪辱期す早大

對関大　東西大学対抗戦

司会　十一月十七、十八日二十三日と恒例の東西大学対抗戦が行われますが、関西勢はどの程度戦うでしょう。

A　昨年の第三回大会では互角の星を残しているし、今年は関大が大学選手権に優勝しているから、あるいは勝越せるのではないか。

B　勝てる可能性のあるカードは慶応—関学、慶応—立命、明大—同大、早大—関大だろう。

D　残る立教—立命、立教—関学が問題だ。

C　立教はリーグ戦で調子のもっていきかたが悪くいつも優勝していないが、力はあるからね。

A　立教は関西で一度も負けていない。

C　立教を関学、立命が倒すかどうかが勝ち越すかどうかの分岐点となるだろう。

D　大学選手権でしてやられた早大は順位を無視してもう一度関大とやりたいといっていたがうまく三位同士で顔が合った。

A　これは面白いね。

B　内容的には一番充実した試合となるのではないか。

C　この大会は新チームでやるのだろう。

D　だから早大は木村を欠く

C　欠いても今の木村なら大して戦力に響かないだろう。

D　関大は村山が健在だし、早大もよほど打たないとかえりうちになる恐れがある。

A　関西の選手は最近自信をもってきたからいずれにしても活溌なゲームが期待される。

西日本大會に優勝！

相撲部の〝黄金時代〟再現か

第十六回西日本学生相撲選抜大会は十月二十日西日本より選抜された関、関、同、立、近の五校の精鋭が出場し西日本の覇権をかけて熱戦が繰り広げられた。優勝候補筆頭に挙げられていた本学はやはり強みを発揮し、団体個人共に優勝という二つの輝く覇権を獲得した。

戦前多くの名選手を輩出した黄金時代に比して戦後は二十六年、日本代表としてハワイに遠征した宮脇選手以外全日本級の選手は遂に生れず、戦前のそれとは質量共に遅れをとり、常に他校の後塵を拝し余り芳しからぬ戦績の下に十年が経過したのであった。しかし此の間にあって黄金時代再現を夢見て数多先輩の涙ぐましい努力は優秀選手をぞくぞくと補強し、合宿所を拡大して地方出身者の便宜を与え、更に過去年二回の合宿を四回にして練習量を増大し、全選手の心身共に重なる猛訓練を施した結昌は、鉄井総監督、出水監督の指導とに相俟ち、それに答えて現役選手に培はれた旺盛な斗志と一糸も乱れぬチームワークによって戦後十年にして始めて西日本優勝を獲ち得たばかりか、今大会に副将として出場した寿選手が堂々強剛をなぎ倒して個人優勝の栄誉に輝いたのである。

戦前戦後を問はず関西優勝即ち全日本の優勝候補最右翼に挙げられる学生角界にとって、来る十一月十七、十八両日に渡って大阪府立体育館にて行はれる全日本学生相撲選手権大会の本学決勝進出は余程の番狂はせがない限り間違いはなく全日本の王座を獲得するは最早時間の問題となった。（OB岡田知巳記）

▽出場選手及び戦績

関大５～２立命
〃４～３同大
〃５～２関学
〃５～２近大

先鋒小川（経四）
二陣松村（経二）
三陣山村（文一）
中堅中春（経三）
三将岡崎（経一）
副将寿（法二）
大将鈎田（経二）

関西秋季リーグに

ホッケー全勝優勝

関西学生秋季リーグ戦も戦前の予想通り、関大が春の覇者関学を破り、全試合無失点で押え、優勝を成し遂げた。

リーグ最終日は共に勝ち進んだ関大、関学の対戦となり、白熱の好ゲームを展開した。過去四試合を無失点で押えて来た関大も固くなったのか、再三関学FWの活躍にゴールをおびやかされたが、GKの好守に救われた。後半に入り個人技に勝る関大が遂に決勝の一点をあげ優勝した。関大FWに今一歩のシャープな、たてへの切り込みと、オープンへの展開があったなら、点差はもっと開いたであろう。

今春大量の卒業生を送り、春の覇権をうばわれた関大が、半年の間にこゝまで成長して来たと云う事は、部員の努力、監督天野正氏の指導もさる事ながら伝統の力と云うものの偉大さを感じるのである。

秋季リーグ戦績

関大13（9−0 4−0）0和歌山大
関大10（2−0 8−0）0大市大
関大10（5−0 5−0）0甲南大
関大11（9−0 2−0）0天理大
関大1（1−0 0−0）0関学

順位　①関大5勝②関学4勝1敗③大市大2勝2敗1分④天理大1勝2敗2分⑤甲南大1勝3敗1分⑥和大全敗

氷上シーズン開く

實力伯仲の関・関・同

○……関西五大学アイスホッケー……○

関西五大学アイス・ホッケー・リーグ戦は七日から大阪梅田リンクで開幕、優勝候補の筆頭にあげられる関大は第一線の対立命に楽勝した。しかし大商大の独走に終った昨シーズンにくらべ今季は同大、関学の力が充実しているので接戦が予想され優勝の行方は最後まで判らない。

○…まず関大はさきの対慶応戦で関西のチームとして初めて関東五大学チームを破り、好調の出足をみせている。第一FWの藤本、松本、大橋、第二FWの吉田、田治、岸見がほゞ同等の力を備えているのと、GK六野の守備がずば抜け、DF山田、片桐の中堅も容易に相手の突進を許さぬ堅実さが強みといえよう。チームのバランスがとれている点では五大学随一で、これが関大を優勝への最短距離に置いているといえよう。今一つFWに鋭い切れ込みが備われば力なDFの力を借りた五人攻撃をプレーの基本としているが、やはり肝心のFWがもつと働かないことにはDFの荷が重すぎる。逆に関学はDFからGKへの後障は弱いが、第一FWは五大学最強の陣容を備えている。ただ第二FWはも一つ力がないので第一FWにかかる負担が大きい。立命は戦法で未熟なところはあるが、体力があるので調子づいたときの活躍が期待される。

対法政定期戦

4—5で惜敗

関東リーグで明大と優勝を争う法政大を迎えて第二十回法関定期戦を十一月一日神戸東遊園地で行われ、後半の追撃も及ばず惜敗した。

この試合前半は完全に法政のペースに乗った関大は動きもにぶく防戦に精一杯であった。後半に入り4点のリードをうばわれ、勝負は決したかに見えたが、ホワードが見違える様にシャープな動きとパスワークを見せ、またたく間に4点を打ちこみ同点とした。試合時間も二、三分引分に終るかと思われたが、タイム寸前ゴール前の混戦から決勝点をうばわれ惜敗した。

関西学生拳法選手権

榮冠再び本学へ！

高校も一高が制覇

さきに全日本学生拳法選手権大会で第一回優勝の栄を得た本学は関西学生拳法選手権に於いても初の栄冠を握った。

従来の日本拳法学生選手権が発展的解消をなして、全日本、関東及び関西の各選手権大会に新発足した。各学生拳法選手権大会のうち第一回全日本選手権は本年春大阪府立体育館で東西各大学に依ってその覇を争われ本学の制勝するところとなったが、更に第一回関西学生拳法選手権大会が十一月二日大阪府立体育館で午後一時より行われた。

本年春の全日本に於いて優勝した本学のメンバーは殆んど不動であったが斗将青野三段の負傷欠場が一抹の不安の念を抱かしめないでもなかった。然しながら伝統の闘志と持駒の豊富な本学は春の優勝戦と同様関学と再び優勝戦に相まみえ大将塩見四段を残して優勝ここに全日本、関西の各選手権大会の意義ある第一回の優勝校の名を飾ったのである。

なお第四回全日本高校拳法選手権に於いても本学「一高」が覇権を握り、大学、高校共に優勝するという喜びをもたらした。

一回戦　不戦勝
二回戦　本学10−5立命
準優勝戦　本学10−9同大
優勝戦　本学10−9関学

【評】青野三段の欠場で先峰陣に不備なメンバーは準優勝戦に於いて果して苦戦するところとなった。先峰陣で優位な態勢に試合をすゝめるべき対同大戦に於いては逆に同大にリードを奪われる結果となったが、中村、池井の三年次組の活躍と、副将小西三段の猛魂と大将塩見四段の好調に依って辛勝した。優勝戦の関学には先峰に思いきってレギュラーメンバー通り藤立二段を出し青野の穴埋めには一高時代よりの荒武者小西（弟）二段を起用したのが功を奏し藤立、小西（弟）共に善戦初戦より優位の中に関学を押し切った。

音波

音波——校友の声の欄です。皆様の学校、校友会，学生、校友、夫々へ聞かせたい声をお寄せ下さい。四〇〇字詰原稿用紙二枚程でお願いします。

評議員選挙を省みて一言

第二回評議員選挙について特に感じたことを列挙して関係者の反省を求むると共に将来の参考に資したいと思う。

第一に母校経営の基盤となるべき評議員の選挙事務の取扱が慎重を欠いていたこと。即ち最も大事な投票用紙と関係書類の発送が第五種（開封）扱でその到着の確認が何等なされていない（学校に返送されないものは確に到着したであろうという程度の安心感しか持てない）而もその封筒には「重要」と印刷されている。封入物の重要性を封筒に印刷しただけでその取扱は極めて非重要な扱であったことをこの際大に反省すべきである。これは郵便料を倹約するつもりだったろうと想像するが、それは誤った措置だ。

また投票は「単記無記名」と云ひながら返送用の封筒には住所氏名、卒業年次学科別及び選挙人番号まで明記されていては何が「無記名」だと云いたくなる。「頭隠して尻隠さず」の古諺を味うべし。

返信郵便料を何故学校が負担しなかったのか。この返信料は選挙人が当然負担すべきものと考えたか、又学校が負担すべきものだが、発送総数二万八千通に十円切手を貼ると二十八万円を要する。然しながら返信があるのはその何割だから、返らぬ何割かは完全な損失になる。これは馬鹿らしいことだからこれも倹約の精神で行こう。投票者に負担させても僅か十円だ、知れたものと思ったのか。ところがこれは飛んでもない事だったことはもう解っているだろうが。「返信料受取人払」という制度があるのを何故使わなかったのか不思議でならぬ。

また選挙人の投票が学校に到着か、否かの確認を投票者自ら行う方法が何等講ぜられておらぬ。全く不安な選挙である事は否めない。

第二に選挙運動についての感想は、選挙規程に何等の制約がないので従って饗応、買収、戸別訪問何でもござれという次第だが、いやしくも大学の評議員選挙にそんなことはあり得ないと思っていたらどうしてどうして常識はずれの運動が展開されて、校友のみならず一般世間のひんしゅくを買った。校友会副会長名儀で候補者にあて「選挙運動自粛要望書」が発送された事実は一体何を物語るものか。

返信料「十円切手」の功罪。十円切手一枚を遠い郵便局に買いに行って貼って投函—考えてみただけでも邪魔くさい。然しそれでも母校のことだから棄権したのでは申訳ないとは思いながら、候補者名簿を見ても余り知った人も居らないし、その内よく考えて、と思っている内に忘れて了った人が随分多いのではないか。先に書いた「僅か十円」が非常に大きな作用をしたということを反省してみなければならない。候補者の立場から云うと、「自分に投票して頂くのだから十円は自分が負担するのが当然だと思うだろうし、選挙人もそう云われればそう考えるだろうし、まあ十円でも助かったと思う。而も立派に選挙権を行使するのだから校友としての義務を果したことになると自分に都合のよい解釈をする。買票は売票に通じ、それが如何なる結果になって表われたかは知る由もない。

以上の外意見がまだあるが長くなるから筆を収めるが、寄附行為並に選挙規則の改正を早急にやって、真に大学に相応しい選挙の行われる様に希望する。（箕面・K生）

スポーツスケジュール

（11月～12月）

ラグビー
☆対関学大（11月18日・花園）☆対甲南大（11月25日・西宮）☆対大阪経大12月2日・花園）☆対大阪府警（12月5日・花園）

ヨット
☆対関学大（11月23日・西宮）☆対関西学生新人選手権（11月28日・西宮）

バドミントン
☆大阪経大（11月18日・神戸YMCA）

拳斗
☆早慶対関々定期戦（12月12日・府立体育館）☆対明大（12月19日・府立体育館）

卓球
☆西日本学生選手権（11月17・18日・神戸商高体育館）

バスケット
☆全日本学生選手権（12月7日・東京）

弓道
☆全日本王座決定戦（11月25日・豊橋）

サッカー
☆対同大（11月17日・西宮）☆関学大（11月23日・西宮）

レスリング
☆対慶応大（11月22・東京）☆日本大（11月23日・東京）

自動車
☆東京・大阪間耐久レース（11月22日・大阪産経会館前出発）全日本フィギュアー・レース（11月25日・サメズ試験場）

剣道
☆全日本・日米親善対抗（11月24・25日・府立体育館）☆明治大（11月26・関西大天六体育館）☆対法政大（11月27日・関西大天六体育館）☆対関学大（12月1日・関学大）☆対同志社大（12月5日・同志社大）

相撲
☆全日本学生選手権（11月17・18日（府立体育館）

会員異動（続）

▽真田清次（昭5専法）富山県上新川郡福沢村東黒牧五五一
▽里見敬治（昭30短大二）鳥取市吉方町一六七ノ二日動火災鳥取出張所内（日動火災海上保険鳥取出張所）
▽繁田寛治（昭29学一商）松江市
南田町二二四ノ一六
民金融公庫松江支所
▽清水長治（昭31学一
高畑一四四九
▽関岡久男（昭23大法
町二三大同生命富山
同生命富山支社指導
▽高橋俊（昭30学一仏
山町所原
▽高根昭（昭24工専）
町
▽高橋進（昭26専二法
吉区浜口西一の一四
法律事務所）
▽田中勉（昭26学一法
気七一九（朝日生命
社）
▽谷本（旧姓堀川）不
学一商）三重県上野
二三号（島ケ原中学
▽高木四郎次（昭20専
市水ケ江町二六〇ノ
行佐賀支店）
▽田中利美（昭26専一
垂水区塩屋町民部谷
宮市水道部）
▽田中篤（昭21大経）
日町宮本二二八ノ一
▽津戸吉郎（昭16専一
宮の町七〇九（一畑
▽寺岡孝雄（昭19専一
豊能郡箕面町桜ケ丘
電力A社員住宅二三
▽富沢栄厚（昭28学一
北区此花町一ノ三九
▽殿村達一（昭15大法
津市大路井町五三一
▽中野広佳（昭29学一
今市町本町
▽難波佑次（昭28短大
大原郡雲南木次町三
▽中山敏雄（昭31学一
定塚町（金沢郵政局
▽中西与七（明42専法
豊国町了願寺境内（
支部長）
▽中山一義（昭13専二
市別所町七一（真鍋
▽中井保（昭11専二経
吉区万代東四ノ一七
曳野病院庶務課長）
▽中谷圭吾（昭31学二
瀬区城の内通一ノ一
方
▽中瀬古泰久（昭28学
市東淀川区北江口町
▽西沢康夫（昭31学一
東成区南中道町三ノ
▽原量山（昭15専二法
川郡大社町大字杵築
（簸川福祉事務所）
▽林治郎（昭28学二経
松之浜七六二ノ二
▽花岡昇（昭27学二経
倍野区桃ケ池町一ノ
▽原口正行（昭29学二
阿倍野区王子町三ノ
彦方（光広告KK）
▽原田三郎（昭9専二
上京区千本丸太町東
税町一〇八七
▽浜中重信（臨16専二
豊能郡箕面町西小路
▽日野彊（昭18専二
矢田磧二七七四
▽平井元（昭28学二経
東淀川区瑞光通七ノ
二鉄筋住宅四四号（
勤主任）
▽古市賢太郎（大14専
木田郡三木町井戸二
▽藤原利剣（昭3専文
濃郡美都村東仙道朝

古き傳統と最高の技術を誇る
「神戸洋服」
協同組合 神戸註文洋服専門店会
（6回均等払）
神戸市生田区三宮町三丁目五
TEL（3）七三三〇
（4）〇三一五
このマークの加盟店へ

御料理
大万
志ぐれ
松竹座裏 電南⑮一一四七
浪花座裏 電南⑮七一九一
前田瀧造
（昭和七年卒）

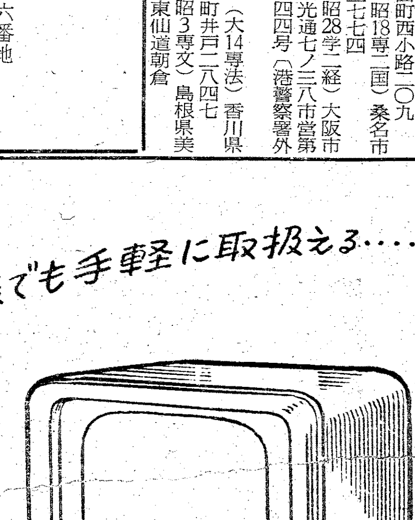
丸善石油株式会社特約店
商標ツバメ印
伊丹市平松町四丁目六番地
小林産業株式会社
取締役社長 小林君次
電話伊丹
代表 三三七一—三
三四八〇 倉庫
三四二〇 北村スタンド
三三九五 本町スタンド

株式会社 大林組
取締役社長 大林芳郎
本店 大阪市東区京橋3丁目75番地
電話東（94）861〜6・1151〜4
支店 東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・岡山・広島・福岡
出張所 神戸・京都

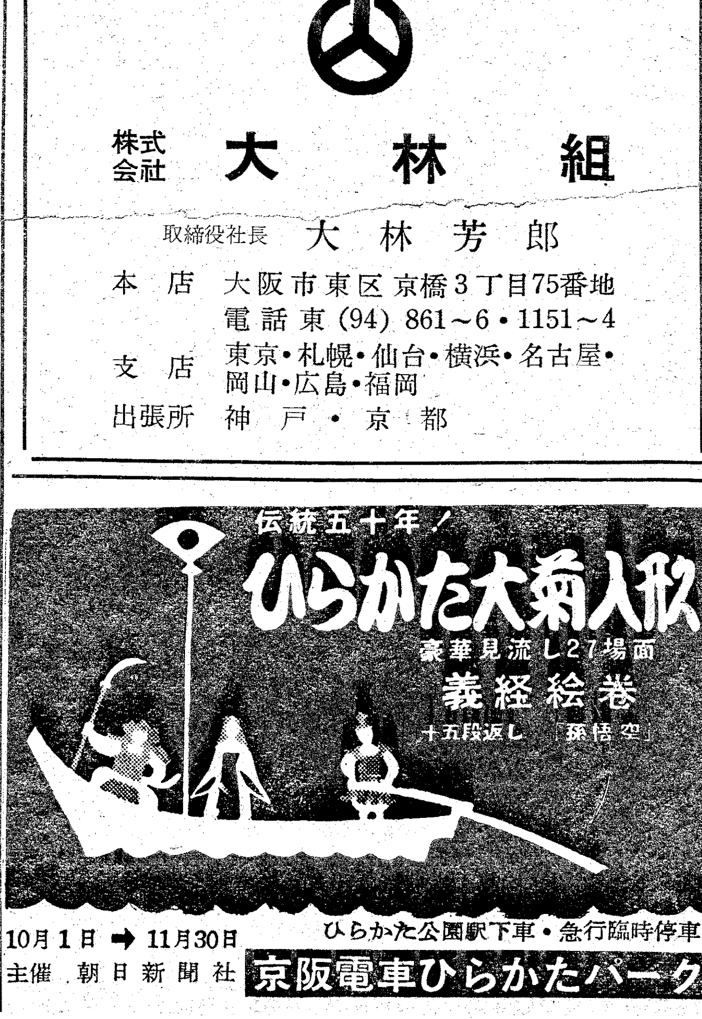
質は山下
東淀川区国次町（阪急淡路駅西出口南一丁）
電話豊崎（37）6414番
（昭和八年卒 山下邦宜）

耐酸化学機械装置
鉛管鉛板・鉛工事
耐酸ビニール加工一式
木村鉛鐵機械工業所
代表者 木村秀吉
営業所 大阪市北区永楽町四六（電話）福島㊺五二八二
本社工場 尼崎市杭瀬字上島一ノ一（電話）尼崎七七四一五

清酒
金正宗
きんまさむね
灘魚崎 松尾仁兵衛醸



お子様でも手軽に取扱える……
三菱テレビ
遠距離用 現金正価 ¥ 82,000 月賦定価 ¥ 87,000
超遠距離用 現金正価 ¥ 84,000 月賦定価 ¥ 89,000
バズ音を防ぐゲーテッドビーム管の他に 最新型の電力増巾管6BK5を使用して音質が一層改善されました。またブラウン管前面のフィルターガラスには円筒形のものが用いてありますから視角がきわめて広く 直接ブラウン管を見るのと同じで 歪のない鮮明な画面がごらんになれます。
三菱電機株式会社元扱店
大阪市東区南本町2丁目43
株式会社 立花商会
電話大阪㉖代表671—9番



伝統五十年！
ひらかた大菊人形
豪華見流し27場面 義経絵巻
十五段返し 孫悟空
10月1日→11月30日 ひらかた公園駅下車・急行臨時停車
主催 朝日新聞社 京阪電車ひらかたパーク

学芸

"チベット"研究諸家の発表と特別講演

日本西蔵学会総会

去る九月二十日（土）霊峰高野の高野山大学において日本西蔵学会昭和卅一年度総会が開催された。当日本学からは当学会の会長石浜純太郎教授、高橋盛孝教授、三上諦聴助教授、藤本勝次専任講師、又遠路はるばる東京・名古屋方面からは東洋文庫 岩井大慧館長を始め数名、京阪神からは京都大学長尾雅人教授、竜谷大学芳村修基教授ほか約三十名、当番校高野山大学からは中野義照学長、酒井真典教授ほか十数名が、それぞれ出席、計五十数名にのぼる盛会であった。

当日の研究発表は午後二時より開始され、先ず竜谷大学の水谷幸正氏より、「チベット医学について」と題し、チベット医学の体系についてその詳細な研究が発表され、ついで東洋文庫の金子良太氏より、「サキャ派史に就ての一考察」と題する精到なる発表がありついで竜谷大学の井口泰淳氏は「多田等観氏請来のチベット仏伝画の紹介」と題し、幻灯を併用しながら興味ある発表をされ、最後に大谷大学の稲葉正就氏が「仏典に用いられたチベット語動詞に就て」と題する精審なる発表をされた。これら諸研究の発表に際しては、終始極めて熱心な討論が行われ、凡そ四時半頃、発表会は終ったが引続き去る八月三ケ月間のセイロン・インド旅行を了えて帰朝された京都大学の長尾雅人教授の特別講演が行われた。この講演には教授が親しく撮影されたカラーフィルムによる幻燈もあって講演は一段と興味あるものとなった。又同時に教授が印度に於て苦心の末、ようやく入手されたチベット語レコードの紹介を行われたことは、非常に有益なことであった。この特別講演が終了したのは五時半。ついで会員一同は続いて行われる懇親会のため、大学を出て高室院の方へ移った。やむかと思えば又降りそそいでいた朝からの雨も今はまったく晴れ、さわやかな夕暮となっていた。懇親会は至極なごやかな雰囲気で行われ、一同歓談裡に午後八時散会。ここに西蔵学会昭和卅一年度総会は盛会の内に無事終了し、或る者は直ちに下山し或る者は宿泊のため宿坊遍照光院へとそれぞれ袂を分った。遍照光院へ向ったのは関西大学の一行を混える二十数名であったが、ここでも又西蔵学に話が及び談論風発してそのとどまる所を知らない程であったが、ようやく一同床に就いたのは十二時をず―と過ぎた頃であった。

明れば二十三日（日）、昨日とはうってかわった好天気。朝の読経に列し、朝食後奥の院にお参りし、午後は学長中野義照先生が霊宝館や多数の伽藍を案内して下さった。最初は少々困ったことになったぞと思われたが、先生天性の磊落さによって、すっかりうちとけた気分となり、大門では御一緒に名物仁王餅などを口にしながら、遥か眼下に拡がる和歌山市街から紀伊水道をへい睨しながらの歓談などもあって、全たく愉快な一時を過し、ようやく四時過ぎ霊峰高野を後にし無事帰阪した。

庄屋の選挙と排斥【2】

記録に殘るのは問題のあった場合だけ

春原源太郎

○…問題のあった後の後任庄屋を選ぶことは困難な問題で、河州吉田村の場合には、後任選定に当り十石以上の高持百姓連判で「年寄浅右衛門親子」が庄屋役になることに反対し「私供一同何方へ罷出候共不承知」と強硬な申合をしている。

しかし庄屋の退任、跡役についての記録の残っているのは、争のあった場合であるから、普通は円満に行われたことは言うまでもなく数代庄屋の家があるのも当然で、庄屋、年寄を家格とし、株と称し家格株質入等の例もある。

円満な例が史料としては少いのでその例を拾ってみると、前記真砂村一件に調停をした太田村庄屋長兵衛は病気を理由に退役したところ、年寄役は長兵衛忰を庄屋に推せんし、新庄屋は年寄宛に謝辞を述べた一札を差入れているが、さらに庄屋就任の際の口上覚（挨拶）がある。珍しいと思うので紹介してみよう。

口上覚

一、私親共是迄庄屋役相勤居候処此度病気取合役儀相勤兼候依之退役御願申上度尤跡役之儀は村方一同御相談之上若年之私へ年寄御両人より後見被成下庄屋役相勤候様御申被下全御両人之御執成思召恭奉存候然ル上は御上様御用向ハ勿論村方万端御相談仕大切ニ相勤可申候万事御心添宜敷御願可申上

となっている。今日の就任挨拶である。

庄屋を選任するには百姓相談の上ということで、投票を用いたものではないようだが、なかには記名投票によったこともあることが武州墨田村（現東京都内）の例などによって紹介されている。

○…ところで選任の相談にあずかる百姓は誰かもっと正確に言えば選任権をもっているのは村内に田畑屋敷を所有する高持百姓だけに限られるか、無高水呑百姓の発言権も認められたか問題になるが原則的には高持に限られる。ただ問題のあった後には村円満のために天王寺庄の如く無高百姓も承知印形を連判している例がある。ただしこの場合にも高持と無高とは判然と区別して連判し、跡役願は「高持百姓の連判で、無高は「無高の者迄承知連判」となっている。

大阪町方では庄屋はなく、各町に町年寄があって町役を勤めた。この町年寄選任は町内居住者であれば全部選任権をもっていたのではなく、大阪では町人というのは居町内に家屋敷を所持するものと家守だけで、借家人は町人ではなく、従って選任権をもたなかった。

町役人選任の方法について投票を用いたことの、南本町四丁目の式目が「南区史」に紹介されている。

「年寄り変覚」というのが原則規定で、それによると、

「退役に付跡役被御付候ハヾ丁人打寄致入札高札三人を書出し申事先年より 詑に御座候」

とある。即ち投票によって候補者三名を決定する。若し三番目同点の場合が生じたときは四人を書出すことになっている。退役した年寄は投票権を有しない。

○…「年寄変入札仕法」というのが投票規定で、投票の方法は一人に二枚づゝ札を渡し、投票箱を上座に据え、投票用紙には一人ずつ意中の候補者を記入したうえで実印を押し、他から見られぬように二つ折にたゝみ箱に入れて退席する。適当な人が一人しかない場合には一枚は白票のまゝ投じ、二枚とも同じ人を書くことができない。投票が終ると月行司（月当番）が開票して高点三名を記し、町人共は三人のうち何人が町年寄に任ぜられても異議がない旨の連署をし、月行司は候補者三人の身元調をそえて惣年寄に提出することになっている。

投票を入札と称したことなど説明するまでもないであろう。選挙といえば現代流行ものゝように考えられるが、江戸時代に町人決定の方法として投票が用いられたことは興味あることで「年寄役相頼度おもはくの仁の名を書下し」は、選挙の原理であろう。ただこの大原則であるべき、自己の頼みたき人に投票する筈の選挙がいつの間にか、自由意思を無視した投票の行われるところに問題があるようである。（筆者は昭七大法卒・辯護士）

千里山随想 13

わせとおくての話

鑄方貞亮

冷害の北海道は別として、時はまさにみのりの秋である。しかも昨年に次ぐ大豊作が伝えられていることは、何と云っても、お目出度い限りである。

東北、北陸地方では、すでに取入れを行っているが、それがわせ（早稲）で、最も期間の短いわせは播種から収穫まで、僅か二ケ月余りであるが、一般に小粒で収量は少なく、味もまた淡白であって、酒造りの原料としてはあまり好ましくない。

西南地方というより近畿以西のおくて（晩稲）には、収穫まで七ケ月余りかかるものもあるが、これは前者と全くあべこべで、特に酒造米として適格である。勿論、炊いて食べても美味い筈。

元来、わせ、おくてという言葉は、米だけにかぎられたものではない。試みに種物屋の店先で、野菜や花の種袋を眺めてごらんなさい。早生、晩生とか早咲き晩咲きとかの文字が目につくのである。中には太陽族のような時無大根などもあるが、大体、実質的或は内容的には晩生の方が優秀であると見て間違いはない。

ところがわれわれは兎角新しいもの、四季それぞれの中で早く現はれるものを珍重する習僻がある。例えば、春の筍、秋の松茸などその最たるものであろう。これの行きすぎは、所謂高級料理屋、寒中黄瓜を出し西瓜を出し、阿呆な「粋人」どもを喜ばせては高いお金を貪る。しかし、斯うズレては季節感もあらばこそ、不粋な私など運動会の長距離競争よろしく、まるでトップとラストとの区別がつかなくなる。子のたまはく、君子は「時ならざるは食はず」。流石に孔子は聖人であった。時というのは、食物で旬（へしゅん）をいい、旬の食物は野菜であれ、魚であれ、一番安値且つ栄養価もまた高いのである。

「初鰹薬のように盛って食い」。家財道具を質に入れてまで初鰹を食った貧しくも愚かな庶民の風習をからかった言葉であるが、シナでも江南地方では、袴を質に入れて初河豚を食ったとある。初物を食えば七十五日長生きをするという。死前の七十五日はそれ程貴重な時間であろうか。七十五日という数え方が判らない。人の噂も七十五日、産後[illegible]七十五日という里諺もあることだ。御教え願いたいものである。

植物もそうであるが、動物にもまた早、晩があ[illegible]そして不幸なことに人間もまた昔から動物であることに疑義はない。早熟早老、「十才で神童、廿才で才子、卅才過ぎればただの凡人」というのはわせであり、大器晩成というのは最も上等のおくてであろう。勿論人間にもこれまた稲同様なかて（中稲）もあるが、右や左の旦那様と哀れみを乞いつゝ見廻す必要は更にない。右顧左眄の無定見型で充分。一寸周囲を見廻してご覧なさい。如何に早老ならねど早熟族、大器ならねど晩熟族の多いことか。

ここまで書いたら拳法部の学生が三人、酒持参で遊びに来た。折角のお土産、早速四人で賞味しはじめたが、その中の一人、三段の猛者が如何にも殊勝な面持ちで、四年次になってもいまだに本心から勉強に身が入らぬという。酒は飲んでも私は大学教授である。三人を教育する義務を果すのはこの時とばかりお説教を初めたのである。勉強というのは、つとめしいることであって、これを本心から好きだという人は、そうざらにいるものではない。たゞ学問には誰でも興味をもつ時期がある。お米にも早稲と晩稲とがあるが、早稲は時期的に大変早くみのるが粒は小さく味もよくない。晩稲は収穫まで長い間かゝるが粒は大きく味もよく、今飲んでいる酒を造るのも晩稲にがぎる。君達は人間のおくてであるから、まだ学問に本心からの興味が出ないだけであってその内に興味が湧くようになる。人間は哺乳動物であるが、動物の中で、一人前になるまで一番長い時間を必要とするのは万物の霊長といわれる人間である。鯨や象は図体こそ大きいが、一人前、いや一頭前になる時間は人間より遥かに短い。牛、馬、犬、豚、猫、鼠などみればより一層歴然たるものがある。ころみて来ると、おくての人間は人間の中でも最もハイ・クラスに属することになるではないか。晩成するもの必ずしも大器とはかぎらないが、晩器は晩成するに定っている。落着いて自信をもってやって行きなさい。以上のようなことをしゃべったのであるが、三人の面が殊の外愉快になったことは申すまでもない。「燕雀安ぞ鴻鵠の志を知らんや」同じ時に生れて大人になった燕雀が未だ子供の鴻鵠を笑っても、鴻鵠はそれを恥じるには及ばない。センダンは双葉より香しとはいうものの、惣じて人間のセンダンは僻のある臭いが強い。大人になって悪臭を放つ恐れがある。

（筆者は経済学部教授・農博）

法曹俳句 鳴子会（大阪）

高音より低音にうつり鵙機嫌　都馬　北村

鵙日和むしろ独身を倖せに　時野　夏人

六甲は晴れて波なし沙魚の潮　岡野　雷三

鵙高音日輪燃ゆる峡の空　鈴木　路峰

道のべに暮るゝ草にも実をもてる　植村久太路

菊を見て思ふことなし朝の晴　中村　枯木

山茶花の赤が宿酔の目を奪ふ　阿久根砂村

草の実をつけて観光バスへ戻る　富永富竹雨

草の実や定かに鹿の通いたる　西口　百艸

つどい

支部設立の胎動しきり

本年九月に行われた母校の評議員選挙を機に母校に対する校友の関心はとみにつよくなり、又包容校友数の多い支部のところもあって一県一支部では連絡上不便とし、さきに兵庫県川辺支部は伊丹、川西、宝塚の三支部に分れ、三重支部は津、名張に分立したに引つゞき十月七日に四日市支部、同十四日に上野支部、同廿一日に伊勢並に松坂支部の設立総会を開き、また奈良では十月七日天理支部の発会式が挙げられた。

在住校友が互に横の連絡を保って親睦をはかり、母校の発展にも寄与されることはまことによろこばしいことである。

なお支部の設立は、支部規則、会員の卒業年度部科別、氏名及び住所、職業、役員氏名、支部事務所等を本部にとゞけ、常議員会の承認を受けることになっている。

文化勲章によせて

楽んで淫せず　八十才の趣味

慎太郎ものというのが出版に映画に、そして調髪にまでよくはやった。十代の青少年が思うまま、やりたいまま、熱の出るままに振まって、思春期を享楽して行くさまが描かれているがどうも道義的な要素は簡単には見とれないようである。

十代の恋愛だけなら三島由紀夫の「潮騒」などにもよく書かれているが、かって故島村抱月が不惑の年に達したときの感懐に

「二十才が所有しているすべてはラブである。三十才にはまだ其の色香は残っている、併し肉の方がまじって来る、最も華やかなのは功名の心である。四十才にはもうラブはない、ただその追憶がある、羨望がある、悔恨がある、功名の心にも最早空想の花は咲かない、不安の影がさす、ラブとアムビションの残躯―四十才のすべてには臆病な打算の心が息をしている」ともらしている。

ここらから石川達三の「四十八才の抵抗」に続くものかも知れないが……それは兎に角短命の標本みたいに云われていた日本人の平均寿命が戦後急速にのびている。昭和二十三年に男五十一、女五十五だったのが、二十八年には男六十一、女六十四と、わずか五年間に十年も延びたわけで、これには一寸びっくりする。こんなところから六十才、七十才の老いらくの恋がしばしば話題に上って来るものと思われる。

「雀百まで踊りを忘れず」とはいうが、この十一月三日文化勲章受章の栄光にかがやいた新村出博士が、八十才の老人になって新らしい趣味を得たという話題は面白いと思う。デコちゃんのファンになって映画熱を出し、八千草に心をひかれて散歩の序にそれ等の気に入ったブロマイドを買うという具合だそうだ。

然しその発熱の動機というのは森鴎外の「雁」を見て、お玉になった高峰秀子に感心し―そう云えば僕も「二十四の瞳」で、女教師の巧演技に泣かされ通したが―八千草薫が実に鮮かにイタリア語でマダム・バタフライをやったのに聞きとれたというのである。

それでも「といってそうたびたび観に行っては、年ガイもないと戒める気も起り、人目もはばかるし、孫にも笑われたくない……」との話をうかがっと"人間的な、あまりに人間的な"博士の持味がたまらなく羨やまれるのである。

論語に曰く「楽しんで淫せず哀しんで破らず」と、老博士八十才の趣味は、ぱっとする太陽族への良いお手本であり、それだけでも文化勲章に価しないであろうか。（三島生）

明るい秋灯の下

いつに変らぬ愉快な集り

（大阪）

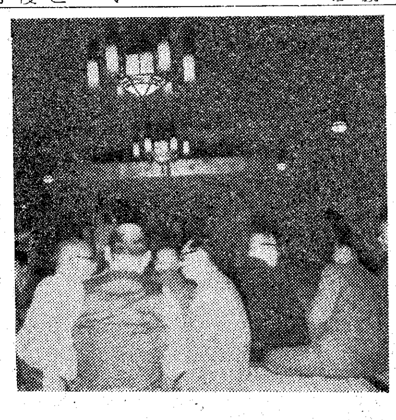
春の総会は竜田、法隆寺から信貴山へと大和路を行楽の一日を楽しんだので秋は市内の足場のよいところで開くことになり、阿倍野の燎泉閣で十月廿九日（月）午後六時から開催した。学校側から白川理事長、岩崎学長をはじめ久井専務理事、矢野常務理事も出席された。

中務支部長は岩崎学長が去る九月に無事大任を果して帰朝された祝詞と前月行われた母校の評議員選挙に当り、当支部から十七名の多数が当選されたことに祝意を表し、かねて会計報告をされた。

ついで岩崎学長から三ケ月亘る欧米の学事視察の報告があって開宴、いつにかわらぬ和やかに賑やかな雰囲気につつまれ、良夜の宴であった。

出席者　学校側、白川理事長、岩崎学長、久井専務理事、矢野常務監事

秋山剛、石原孫市、一木正光、梅原貞治郎、海野円城、上田潤二郎、江里口春志、榎本昭、岡本重治、大石雄一郎、大月伸、大島武夫、大西寿美子、鎌田嘉之、樫本信雄、神屋敷民蔵、北原元茂、木下清一郎、栗本義重、小寺小市郎、坂本竜夫、下条小野右衛門、芝田精一、段林作太郎、竹沢喜代治、頓戸勇、中務平吉、長柄金吾、西本寛一、船本栄一、前田軍治、松本芳太郎、三木甚太郎、水間通夫、村尾静明、森下善雄、安富敬作、八木万太郎、大和英雄、保井剛一、安井章吾、吉村種蔵、和田伝三の諸氏（五十音順）



燎泉閣で大阪支部の集り

同窓会に、御商談に、大阪より一番近い
温泉郷　同窓の御方には特別割引
国際観光旅館
錦溪温泉油屋
営業主（昭19卒）山田　清
南海高野線三日市町下車スグ
（ナンバより　45分）
電話河内長野　14．338．356
大阪案内所（77）8590

"むさしの"で総会

高木教授の講演を聞く

（奈良）

十月二十八日午後三時から古都奈良の三笠山麗"むさしの"で三十一年度の県支部総会を開いた。当日は母校の高木秀玄教授を招いて"欧州における各国の国民性"について興味ふかい講演を伺うことができた。出席者三十二名、役員改選の結果、支部長には奈良市長高椋正次氏が留任、副支部長には松村常太郎氏が選任された。宴たけなわとなる頃牝鹿恋いしたう鹿の鳴く音に和して学歌高らかに唱和し母校の発展を祝福した。

▽尚当支部は県下を一丸としているため、従前から連絡等に不便があったので、各地区分会を設置する様に運動方針を決めた。先ず天理市には永井政次郎氏を会長として十月十四日に発足し引きつゞき生駒地区にも近く高峰正太郎氏の努力で設置されることになっている。

那珂川畔の秋色！

愛でつつ総会開催

（福岡）

十月廿七日午後五時半から福岡市桜町料亭「琴藤」に於て福岡県支部秋季総会を開催した。大先輩池田重吉氏と浅沼猪助氏は共に病臥中にて出席出来なかった事は一抹の淋しさを感じたが金子、許斐、西岡、池田の各氏が新に顔を出され、那珂川畔の秋色を愛でつゝ和気あいあい裡に博多の美妓をはべらして歓談数刻、母校の発展と校友会の隆昌を祝福し、学歌を合唱、母校の万才を三唱して午後十時散会した。当日の出席者左の如し。

支部長―清原俊之助、幹事―高瀬卓二、須田喜三男、土屋司八田薫、安藤羊造、釘崎春義、宮本信義、大原英次郎、金子斌、許斐茂明、福原徳三郎、中村敬直、池田富美雄、西岡以上十五名

在学生を交え

総会で役員改選

（富山）

本年度の総会は児玉先輩の好意によって秋"立山探勝"をすることになっていたが、八月帰省中の県人会学生側から合同した集りをとの希望で、八月廿六日富山駅前"桝常"で開催した。出席者二十五名（うち十一名在学生）

議事は橋詰氏司会のもとに古屋支部長並に学生代表の挨拶、幹事の経過報告ののち役員改選の結果支部長に安田倫蔵氏が当選、別記のようにそれぞれ決定した。

議事終了後懇親会にうつり、学生から母校の近況を、先輩からは往時の関大の追憶や、在学生諸君が社会に出た場合の心構えなどを和気あいあい裡に語り合い、九時過ぎ再会を約して万才三唱ののち散会した。

支部長―安田倫蔵、副支部長―橋詰兼義、延谷謙三
幹事―矢内原和一、釣谷巌、関岡久男、小森実
顧問―古屋東、栗山基一、宮本五郎、児玉信次郎、中島正文、福村信雄

支部の活動に熱意を傾倒

（西成）

初秋の十月六日（土）午後六時から千日前の"喜楽"で第三回西成支部の総会を開催した。連絡の不十分もあって会するもの十九名であったが、支部の発展に並々ならぬ熱意ある人々のこととて支部活動とその将来について大いに談ぜられ、終って懇親会に移り学生時代を偲びながら談笑の裡に有意義な一夕を終ったのは午後十時であった。

松山在住の集りを開催

（愛媛）

松山在住の校友が十月三日午後六時から市内の大和屋別館で久しぶりに会合した。

集るもの森皎（大15専法）大西忠（昭6専法）石井晃男（昭10大経）奥村一雄（昭16大商）瓦谷末雄（昭15専二法）山田義康（昭17大法）門屋賢一（昭13専二法）原田三夫（昭6大経）の八名で母校の発展を祝福した。

支部事務所は松山市萱町八丁目八六ノ三、原田三夫方である。

支部長評議員当選

祝賀を兼ねて総会

（守口）

去る九月に行われた母校関西大学の評議員の選挙において本多支部長が評議員に当選した祝賀を兼ねて秋季総会を十月十七日（土）午後七時より守口市内料亭中島屋で開いた。母校から矢野常務監事出席し、来賓として卒業生の就職で日頃お世話になっている木崎守口市長及び木田守口市教育長の御臨席を得て一段と光彩をそえ会員五十四名の多数が出席した。当日の会合で特に感じたことは一度より二度、二度より三度と出席するたびに相互が親しくなれると云う声をアチコチで耳にしたことは支部発展途上一大収穫であると思った。午後十時半盛会裡に閉宴した。

昭五会例会

昭和五年学部卒業生から成る昭五会秋の例会は、十月二十六日午後六時から市内南区周防町の"南宝園"で開催した。二十六年ぶりに逢った人々もあって懐旧の情切なるものがあった。

参会者　河野吉治、島田信一、永島房一、高橋猛、中石清一、今井司、宇津呂義雄、藤本栄治郎、鈴木武夫（鈴木報）

講演と映画の夕

川西市公会堂で

（川西）

兵庫県の川西支部では十月廿七日（土）午後六時から川西市公会堂で"講演と映画の夕"を開催した。川西市民の皆さんに伸びゆく関西大学の姿を披露したい、大学のPR活動の一翼を担ってとの意図で、大学並に学生生活の映画二巻とアメリカ文化センターから借受けた映画四巻を上映しその合間に支部長滝井義男氏が"関大建学の精神"支部顧問で川西市教育委員野原稔氏の"現代教育の課題"支部幹事長、市会議員蓮井敏雄氏が"川西市政の動向"等の講演を加えた。当日は伊丹支部長深川実氏が出席されて祝辞をいただいた。聴衆は百五十名、第一回の催しとして有意義な会合であった。

松原教授を歓送

年輪会の総会

創立満一周年を迎えた年輪会では、十月十九日南地喜楽別館に於て、会員松原藤由君の欧米留学歓送会を兼ね秋季総会を開催した。会務報告、会則一部改正、役員改選等の議事終了後懇親会に移り歓談数刻、最後に松原君の壮途と本会の発展を祝福して万歳を三唱し、盛会裡に幕を閉じた。

因に当日決定した新役員並に出席者は次の通りである。

新役員　会長木藤安之、副会長神吉等、中本勇、会計幹事福本長五郎、庶務幹事岩田賢一、幹事岡田雅一、大橋秀夫、成川政雄、独活山万司、村上一雄、石本末太郎、門上敏夫

出席者　岩本公夫、岩田賢一、石幸末太郎、岡田雅一、神吉等、木藤安之、成川政雄、中本勇、西谷輝久、日俣正三、藤川良一、福本長五郎、堀徳太郎、松原藤由、三島信太郎、村上一雄、湯川桝三（以上十七名）

校友の動き

―校友課提供―
（ ）内は勤務先

▽吾郷一郎（昭12専二商）出雲市塩冶町一二九一（計理士・税理士）
▽赤井等（昭18専二法）金沢市上堤町一三住友信託銀行金沢支店内（住友信託銀行金沢支店副長）
▽安部清（昭22大経）富山市衣服町三（野村証券富山支店長代理）
▽荒木行雄（昭30学一経）四日市市東富田旭町
▽浅野信一（昭29学一英）大阪市東淀川区山口町二二八（大阪中央電報局）
▽芦田昭（昭30学一経）福知山市荒河一三三一
▽荒井安彦（昭15大経）橿原市大字今井五一六
▽井上喬（昭24専一商）島根県邑智郡桜江町大字市山江尾三三八
▽苛原晃（昭27短大二）守口市大宮通一、鉄筋宿舎七八の二
▽飯野秀二（北条秀司）（昭2専文）鎌倉市岡本八三五（作家）
▽伊原利秋（昭9専二商）宝塚市伊子志円国寺一八三（明王商事取締役・伊原商店取締役・青山ビニール工業取締役）
▽石田武一（昭24専一商）大阪市天王寺区勝山通二の一〇（高正商店）
▽伊藤俊一（昭18専二経）神戸市東灘区本山町中野字平田筋四八
▽伊東知治（昭30学二法）尼崎市浜田町五の三八（大阪府民政部保護課）
▽岩崎哲郎（昭25大法）大阪市南区松屋町七一、末吉郵便局内（末吉郵便局長）
▽今井恒雄（昭3専法）堺市少林寺町中一丁一四（大津毛織外渉部）
▽板倉伝一（昭30学二経）大阪府泉南郡岬町多奈川、関電奈多川火力建設所内（関西電力多奈川火力発電所建設所）
▽植村英一（昭16専二法）兵庫県尼崎市昭和通九の三六四（尼崎市総務局主税課長）
▽小笹清士（昭14専一商）島根県八束郡鹿島町御津四七〇（島根県薬務課）
▽小田和夫（昭17大経）神戸市灘区岸地通三の二（小田歯科医院）
▽尾崎正三（昭15大商）大阪市南区大宝寺仲ノ丁二四（尾崎時計商会）
▽奥野安次郎（昭13大政）富田林市字富田林二〇三（化粧品商）
▽岡本博（昭18専二商）姫路市柿山伏上ノ町一八の三
▽尾久信一（昭31学一経）富山市古手伝町二八（富山通運株式会社）
▽大西嘉之（昭15専二商）大阪府泉北郡高石町南一一二六高師ノ浜荘内
▽小倉清（昭19大法）三重県阿山郡阿山村大字馬場（河合農業協同組合）
▽大井貞義（昭24大法）八尾市山本三四の六（日本電建大阪支店原價係）
▽大井（旧姓武田）二郎（昭9専二法）大阪府南河内郡古市町字古市城山九〇〇の八一
▽大村澄男（昭29学一経）東京都墨田区寺島一の一三三一池田方
▽小崎忠雄（昭24大経）神戸市灘区天城通七の一一
▽門脇雅夫（昭28学一商）尼崎市東大島字宮の下二一八（尼崎市福祉事務所保護課）
▽川岸一郎（昭8専二法）和歌山市鷹匠町六吹山住宅
▽香月博光（昭14専二法）福岡県直方市植木町五二二
▽金森健二（臨16大法）大阪市北区真砂町五五アラスカビル内（金森法律事務所）

（第三面に続く）

歌舞伎寿司
阪急天神橋駅前
電話㉟五九一八番
出張所
千里山関大一高食堂

關西大學學生募集

大学院
修士課程　法学・文学・経済学　各研究科
博士課程　法学・文学・経済学　各研究科

学部（第一部＝昼間・第二部＝夜間）
法学部　法律学科　政治学科
経済学部　経済学科
文学部　英文学科　国文学科　哲学科　仏文学科　獨文学科　史学科　新聞学科　東洋文学科
商学部　商学科
出願　1月16日より　経・文 2月22日　法・商 2月23日
試験　経・文2月24日　法・商 2月25日

地方試験（第一部のみ）
試験地
高松―香川大学
福岡―九州大学
広島―広島大学
金沢―金沢大学
出願　1月16日～2月18日
試験　2月24日

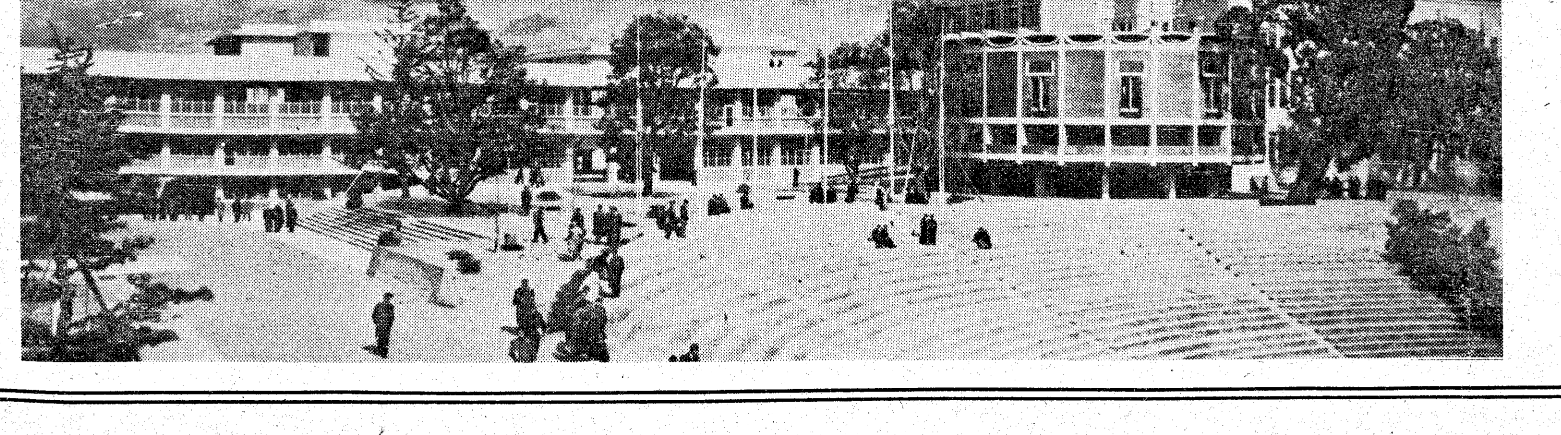
第二部二次試験
出願　3月7日～3月22日
試験　3月24日

学部三年編入　經・文・商（第一部・第二部）
出願　3月7日～3月20日
試験　3月23日

第一高等学校
出願　2月21日～3月2日

第一中學校
出願　3月1日～9日

◎入学要覧（要50円 〒8円）
関西大学庶務課へ
大学院・学部第一部＝吹田市千里山
学部第二部＝大阪市大淀区長柄中通二

関西大学第一高等学校　大阪府吹田市垂水
関西大学第一中学校　大阪市大淀区長柄中通二